



(様式第 10)

附総 第 7845 号
令和元年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学
理事長 二見 良之

公大学法人横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
氏 名	公立大学法人横浜市立大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公立大学法人横浜市立大学附属病院

3 所在の場所

〒236-004 横浜市金沢区福浦3-9
電話 (045) 787-2800

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

☒ 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
☐ 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	有	無	
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 呼吸器科	2 循環器科	3 消化器科	4 リハビリテーション科	5 形成外科	6 病理診断科		
7	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
26床	0床	16床	0床	632床	674床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	446人	82人	458.45人	看 護 補 助 者	54人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	17人	3人	17.7 人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	49人	10人	57.5人	作 業 療 法 士	12人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	39人	2人	40.4人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	712人	34人	741.8人	臨 床 工 学 士	16人	医療社会事業従事者	11人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	2人	4人	5.9人	歯 科 技 工 士	1人	eq ¥o¥ad(事 務 職 員,	120人
管理栄養士	9人	1人	9.8人	診療放射線技師	47人	そ の 他 の 職 員	4人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	72 人	眼 科 専 門 医	9 人
外 科 専 門 医	42 人	耳鼻咽喉科専門医	9 人
精 神 科 専 門 医	10 人	放 射 線 科 専 門 医	18 人
小 児 科 専 門 医	18 人	脳神経外科専門医	10 人
皮 膚 科 専 門 医	6 人	整 形 外 科 専 門 医	14 人
泌尿器科専門医	10 人	麻 酔 科 専 門 医	30 人
産婦人科専門医	19 人	救 急 科 専 門 医	5 人
		合 計	272 人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (相原 道子) 任命年月日 平成 28 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(統括安全管理者)の経験を有する。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日あたり平均入院患者数	545 人	15 人	560 人
1 日あたり平均外来患者数	1832.1 人	98.3 人	1930 人
1 日あたり平均調剤数	596 剤		
必要医師数	160人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	19人		
必要（准）看護師数	345人		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	195m ²	鉄骨造	病 床 数	8 床
			人工呼吸装置	有 無
			その他の救急蘇生装置	有 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 11.55~13.43 m ² [移動式の場合] 台 数 台		病床数	11床
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 32 m ² [共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	1278m ²	鉄骨造	(主な設備) 生化学多項目自動分析装置、 検体前処理・搬送システム	
細菌検査室	145m ²	鉄骨造	(主な設備) 自動細菌検査装置、全自動血液培養装置	
病理検査室	312m ²	鉄骨造	(主な設備) 自動免疫染色装置、電子顕微鏡	
病理解剖室	183m ²	鉄骨造	(主な設備) 解剖室、更衣室、安置室(冷蔵室)	
研 究 室	14749m ²	鉄骨造	(主な設備) 動物実験センター、RIセンター、臨床研究棟	
講 義 室	277m ²	鉄骨造	室数 2 室	収容定員 180 人
図 書 室	2398m ²	鉄骨造	室数 室	蔵 書 数 15万20000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		77.3%	逆紹介率	61.7%
算出根拠	A：紹介患者の数	15,692人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,230人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	882人		
	D：初診の患者の数	22,962人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療安全管理部	○		有・ ☒ 無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に 識見を有する者	有・ ☒ 無	1
足立 雅子	病院ボランティア ランパスの会		医療を受ける立場の者	有・ ☒ 無	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を有する者（内部委員）	☒ 有・無	1
田中 靖	法人事務局副局長		その他の医療従事者以外の者（内部委員）	☒ 有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☒ 有・無
委員の選定理由の公表の有無	☒ 有・無
公表の方法 病院のホームページ上で公開	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	1人
Birt-Hogg-Dubé(BHD)症候群の遺伝子診断	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断	0人
LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	8人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0人
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャ病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	1人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 固形がん(根治切除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	14人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 進行再発非小細胞肺がん(ステージⅢB期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	切除不能膵・消化管神経内分泌腫瘍に対するカペシタビン・テモゾロミド併用化学療法 (CAPTEM)	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 神経内分泌腫瘍は、年間10万人あたり3人に発症する極めて希な腫瘍である。そのため、切除不能な段階で始めて診断され、その多くは外科的切除の適応とならない。切除不能神経内分泌腫瘍に対してはサンドスタチンLARやソマチチンといったホルモン療法、アフィニール、スーテントといった分子標的薬、ザノサー等の抗がん剤が保険収載されている。しかし、その治療効果は限定的なものであり、副作用の観点から、その継続性に関しても議論があるところである。2005年コロンビア大学よりCAPTEM療法が、始めて報告された。この治療法は、神経内分泌腫瘍の細胞株であるBON細胞株でアポトーシスを誘発する際、カペシタビンとテモゾロミドには相乗作用があることを見出したことをもとに、臨床応用された治療方法で、実際に非常に高い抗腫瘍効果が得られたとするものである。2013年にその一部が論文掲載され、2014年1月16日から、米サンフランシスコで開催されたGastrointestinal Cancer Symposium (ASCO-GI) で発表された。転移を有する高・中分化型神経内分泌腫瘍 (Ki-67 ≤ 20%) 患者を対象としたもので28日を1サイクルとし、カペシタビンは1500mg/m²/日を1日2回に分け1-14日目まで経口投与した。テモゾロミドは150-200mg/m²/日を1日1回、10-14日目まで経口投与とした。登録した28人において、完全奏効 (CR) は11%、部分奏効 (PR) は32%で得られ、奏効率は43%、安定状態 (SD) は54%、臨床的有效率 (CBR) は97%だった。無増悪生存期間中央値 (PFS) は22カ月。OSは29.1カ月であった。CAPTEM療法に関しての、その後も多数の報告例があったが、2017年のASCOにて、切除不能膵原発の神経内分泌腫瘍の患者を対象として、テモゾロミド単独群をコントロールアームとした初めてのランダム化第二相試験Iが施行され、PFSにおいて22.7ヶ月対14.4ヶ月 (HR=0.58, P=0.023) 副次評価項目、OS not reached 対38.0ヶ月 (HR=0.41, P=0.012) でCAPTEM療法の有用性が報告された。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数		疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	120
2 筋萎縮性側索硬化症	43	57	特発性拡張型心筋症	20
3 脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	3
4 原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	
5 進行性核上性麻痺	21	60	再生不良性貧血	15
6 パーキンソン病	186	61	自己免疫性溶血性貧血	
7 大脳皮質基底核変性症	16	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8 ハンテントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	24
9 神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病		65	原発性免疫不全症候群	4
11 重症筋無力症	60	66	IgA 腎症	8
12 先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	13
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	59	68	黄色靱帯骨化症	2
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8	69	後縦靱帯骨化症	27
15 封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	4
16 クロウ・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	51
17 多系統萎縮症	27	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	71	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19 ライソゾーム病	3	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
20 副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21 ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	
22 もやもや病	7	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4
23 プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	19
24 亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25 進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26 HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27 特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28 全身性アミロイドーシス	6	83	アジソン病	
29 ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	52
30 遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	10
31 ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	9
32 自己食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33 シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	31
34 神経線維腫症	9	89	リンパ脈管筋腫症	1
35 天疱瘡	23	90	網膜色素変性症	26
36 表皮水疱症		91	バッド・キアリ症候群	1
37 膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	2
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	27
39 中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	4
40 高安動脈炎	22	95	自己免疫性肝炎	9
41 巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	3
42 結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	52
43 顕微鏡的多発血管炎	27	98	好酸球性消化管疾患	10
44 多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	7
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46 悪性関節リウマチ	14	101	腸管神経節細胞減少症	
47 パージャール病	9	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	
49 全身性エリテマトーデス	177	104	コステロ症候群	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	88	105	チャージ症候群	
51 全身性強皮症	83	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52 混合性結合組織病	31	107	全身型若年性特発性関節炎	15
53 シェーグレン症候群	14	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54 成人スチル病	7	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55 再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7
113 筋ジストロフィー	7	163 特発性後天性全身性無汗症	2
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	164	164 眼皮膚白皮症	
115 遺伝性周期性四肢麻痺	165	165 肥厚性皮膚骨膜炎	
116 アトピー性脊髄炎	166	166 弾性線維性仮性黄色腫	1
117 脊髄空洞症	167	167 マルファン症候群	
118 脊髄髄膜瘤	168	168 エーラス・ダンロス症候群	
119 アイザックス症候群	169	169 メンケス病	
120 遺伝性ジストニア	170	170 オクシピタル・ホーン症候群	
121 神経フェリチン症	171	171 ウィルソン病	1
122 脳表ヘモジリン沈着症	1	172 低ホスファターゼ症	
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	173	VATER症候群	
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	174	那須・ハコラ病	
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	175	ウィーバー症候群	
126 ベリー症候群	176	176 コフィン・ローリー症候群	
127 前頭側頭葉変性症	177	177 有馬症候群	
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	178	178 モワット・ウィルソン症候群	
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	179	179 ウィリアムズ症候群	
130 先天性無痛無汗症	180	180 ATR-X症候群	
131 アレキサンダー病	181	181 クルーゾン症候群	
132 先天性核上性球麻痺	182	182 アペール症候群	
133 メビウス症候群	183	183 ファイファー症候群	
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	184	184 アントレー・ビクスラー症候群	
135 アイカルディ症候群	185	185 コフィン・シリス症候群	
136 片側巨脳症	186	186 ロスモンド・トムソン症候群	
137 限局性皮質異形成	187	187 歌舞伎症候群	
138 神経細胞移動異常症	188	188 多脾症候群	
139 先天性大脳白質形成不全症	189	189 無脾症候群	
140 ドラベ症候群	190	190 鰓耳腎症候群	
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	191	191 ウェルナー症候群	
142 ミオクロニー欠神てんかん	192	192 コケイン症候群	
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	193	193 ブラダー・ウィリ症候群	
144 レノックス・ガストー症候群	194	194 ソトス症候群	
145 ウエスト症候群	195	195 ヌーナン症候群	
146 大田原症候群	196	196 ヤング・シンプソン症候群	
147 早期ミオクロニー脳症	197	197 1p36欠失症候群	
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	198	198 4p欠失症候群	
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	199	199 5p欠失症候群	
150 環状20番染色体症候群	200	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151 ラスムッセン脳炎	201	201 アンジェルマン症候群	
152 PCDH19関連症候群	202	202 スミス・マギニス症候群	
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	203	203 22q11.2欠失症候群	
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	204	204 エマヌエル症候群	
155 ランドウ・クレフナー症候群	205	205 脆弱X症候群関連疾患	
156 レット症候群	206	206 脆弱X症候群	
157 スタージ・ウェーバー症候群	207	207 総動脈幹遺残症	
158 結節性硬化症	2	208 修正大血管転位症	
159 色素性乾皮症	209	209 完全大血管転位症	1
160 先天性魚鱗癬	210	210 単心室症	

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
211 左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212 三尖弁閉鎖症	2	260 シトステロール血症	
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261 タンジール病	
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症		262 原発性高カイトミクロン血症	
215 ファロー四徴症	2	263 脳臓黄色腫症	
216 両大血管右室起始症		264 無βリボタンパク血症	
217 エプスタイン病		265 脂肪萎縮症	
218 アルポート症候群		266 家族性地中海熱	3
219 ギャロウェイ・モフト症候群		267 高IgD症候群	
220 急速進行性糸球体腎炎	2	268 中條・西村症候群	1
221 抗糸球体基底膜腎炎		269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222 一次性ネフローゼ症候群	2	270 慢性再発性多発性骨髄炎	
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎		271 強直性脊椎炎	7
224 紫斑病性腎炎		272 進行性骨化性線維異形成症	
225 先天性腎性尿崩症		273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)		274 骨形成不全症	
227 オスラー病	1	275 タナトフォリック骨異形成症	
228 閉塞性細気管支炎		276 軟骨無形成症	
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		277 リンパ管腫症/ゴーム病	
230 肺胞低換気症候群		278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231 α1-アンチトリプシン欠乏症		279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232 カーニー複合		280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233 ウォルフラム症候群		281 クリップル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234 ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282 先天性赤血球形成異常性貧血	
235 副甲状腺機能低下症		283 後天性赤芽球癆	1
236 偽性副甲状腺機能低下症		284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症		285 ファンconi貧血	
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		286 遺伝性鉄芽球性貧血	
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		287 エプスタイン症候群	
240 フェニルケトン尿症		288 自己免疫性出血病XIII	
241 高チロシン血症1型		289 クロンカイト・カナダ症候群	
242 高チロシン血症2型		290 非特異性多発性小腸潰瘍症	
243 高チロシン血症3型		291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸	
244 メーブルシロップ尿症		292 総排泄腔外反症	
245 プロピオン酸血症		293 総排泄腔遺残	
246 メチルマロン酸血症		294 先天性横隔膜ヘルニア	
247 イソ吉草酸血症		295 乳幼児肝巨大血管腫	
248 グルコーストランスポーター1欠損症		296 胆道閉鎖症	
249 グルタル酸血症1型		297 アラジール症候群	
250 グルタル酸血症2型		298 遺伝性腓炎	
251 尿素サイクル異常症		299 嚢胞性線維症	
252 リジン尿性蛋白不耐症		300 IgG4関連疾患	7
253 先天性葉酸吸収不全		301 黄斑ジストロフィー	1
254 ポルフィリン症		302 レーベル遺伝性視神経症	
255 複合カルボキシラーゼ欠損症		303 アッシャー症候群	
256 筋型糖原病	1	304 若年発症型両側性感音難聴	
257 肝型糖原病	1	305 遅発性内リンパ水腫	
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306 好酸球性副鼻腔炎	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病		319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	
308 進行性白質脳症		320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
309 進行性ミオクローヌスてんかん		321 非ケトーシス型高グリシン血症	
310 先天異常症候群		322 β -ケトチオラーゼ欠損症	
311 先天性三尖弁狭窄症		323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312 先天性僧帽弁狭窄症		324 メチルグルタコン酸尿症	
313 先天性肺静脈狭窄症		325 遺伝性自己炎症疾患	
314 左肺動脈右肺動脈起始症		326 大理石骨病	
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症		327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316 カルニチン回路異常症		328 前眼部形成異常	
317 三頭酵素欠損症		329 無虹彩症	
318 シトリン欠損症		330 先天性気管狭窄症	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・糖尿病合併症管理料	・がん性疼痛緩和指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・がん患者指導管理料ロ
・がん患者指導管理料ハ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・遺伝学的検査
・精密触覚機能検査	・HPV核酸検出およびHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胎児心エコー法
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ヘッドアップティルト試験
・人工臓器検査、人工臓器療法	・長期継続頭蓋内脳波検査
・脳波検査判断料1	・神経学的検査
・補聴器適合検査	・ロービジョン検査判断料
・コンタクトレンズ検査料1	・内服・点滴誘発試験
・CT透視下気管支鏡検査加算	・画像診断管理加算1
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・外来化学療法加算1
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・がん患者リハビリテーション料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・児童思春期精神科専門管理加算
・認知療法・認知行動療法1	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・脳刺激装置植込術(頭蓋骨内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・網膜再建術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術および植込型骨導補聴器交換術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)

・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・輸血管理料Ⅰ	・輸血適正使用加算
・自己生体組織接着剤作成術	・自己クリオプレシピレート作製術(用手法)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・歯周組織再生誘導手術
・広範囲顎骨支持型装置埋込手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・麻酔管理料(Ⅱ)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・歯科矯正診断料
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・酸素の購入単価

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・硬膜外自家血注入療法
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22 例 / 剖検率 8.3 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
尿細管慢性機序に基づく食塩感受性・高血圧症の分子病態の解明と展開.	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	182万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成29年度-平成31年度)
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証.	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	文部科学省:科学研究費補助金 基盤研究B(平成29年度-平成33年度)
高リスク心筋梗塞に対する運動介入効果による加齢への影響と組織再生能評価.	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(平成30年度-平成32年度)
動脈硬化症のバイオマーカーの開発.	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	150万円	補 委	学長裁量事業 LIP.横浜推進プロジェクト
腎障害に対する腎尿細管受容体結合因子の病態生理学的検討.	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補 委	科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 若手研究(B)(平成29年度-平成30年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発.	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	20万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
インスリン抵抗性を基盤とする心血管病における受容体結合因子の病態生理学的意義.	大城光二	循環器・腎臓・高血圧内科学	120万円	補 委	科学研究費補助金研究活動スタート支援(平成30年度-平成31年度)
正コレステロール血症の閉塞性動脈硬化症へのLDL吸着先進医療と受容体結合因子.	大澤正人	循環器・腎臓・高血圧内科学	45万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C),(平成28年度-平成30年度)
T1マッピングを用いた非虚血性拡張型心筋症患者の薬物療法による左室Reverse remodelingの予測.	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補 委	公益財団法人 MSD生命科学財団研究助成生活習慣病領域(平成29年10月から2年間)
糖尿病合併心不全における心筋線維化および心筋血流予備能の評価:心臓MRIを用いた病態解明とリスク層別化.	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	補 委	一般社団法人 日本循環器学会医師臨床研究助成
MRIによる心不全患者の心筋線維化、冠血流予備能の臨床的意義の検討.	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	120万円	補 委	科学研究費補助金研究活動スタート支援(平成30年度-平成31年度)

選択的受容体機能調節因子に着目した高血圧の新規治療戦略.	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧 内科学	130万円	補 委	科学研究費補助金 研究活動スタート支援(平成29年度-平成30年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発.	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧 内科学	20万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	150万円	補 委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30年度-平成35年度)
ワイヤレスセンサシステムを活用したカフレス式(腕帯不要)の新規家庭血圧測定法の検討.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	90万円	補 委	横浜市リーディング事業助成金(トライアル助成)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	350万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
正コレステロール血症の閉塞性動脈硬化症へのLDL吸着先進医療と受容体結合因子.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	25万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C),(平成28年度-平成30年度)
老化にともなう心血管病における受容体結合型心血管保護分子の病態生理学的意義の検討.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	15万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
ドーパ神経伝達物質機構の心不全および急性腎障害における解析.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H30-32年度)
ICTを活用した糖尿病腎症重症化抑制法の構築.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	615万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
シーズA116.受容体結合因子ATRAPの新たな機能を足がかりとした腎性老化の機序解明と制御治療.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	232万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出.	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	25万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
正コレステロール血症の閉塞性動脈硬化症へのLDL吸着先進医療と受容体結合因子.	戸谷義幸	循環器・腎臓・高血圧 内科学	25万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C),(平成28年度-平成30年度)
SCN5A-Nedd4-2系の電氣的リモデリングに関する病態解明.	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧 内科学	160万円	補 委	文部科学省:科学研究費補助金 若手研究B(平成29年度-平成30年度)
致死的不整脈とSCN5A-Nedd4-2系の電氣的リモデリングに関する病態.	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧 内科学	100万円	補 委	三井住友信託銀行:公益信託 循環器学研究振興基金(平成29年度-平成30年度)

重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証.	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	5万円	補委	文部科学省: 科学研究費補助金 基盤研究B (平成29年度-平成33年度)
高リスク心筋梗塞に対する運動介入効果による加齢への影響と組織再生能評価.	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(平成30年度-平成32年度)
新規高血圧遺伝子ATP2B1と頸動脈硬化症進展への病態解明と治療戦略の開発.	谷津圭介	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成28年度-平成30年度)
老化にともなう心血管病における受容体結合型心血管保護分子の病態生理学的意義の検討.	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	156万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成29年度-平成31年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発.	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	30万円	補委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
正コレステロール血症の閉塞性動脈硬化症へのLDL吸着先進医療と受容体結合因子.	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	25万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C),(平成28年度-平成30年度)
原発性リンパ浮腫患者に対する新たな治療法の開発(サイトカインを標的とした治療).	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	5万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C),(平成29年度-平成31年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究.	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	90万円	補委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30年度-平成35年度)
収縮機能の保持された心不全におけるCa ²⁺ 過負荷の役割と新たな治療方法の開発.	上村大輔	臨床検査部	174万円	補委	科学研究費補助金 研究活動スタート支援(H30-31年度)
収縮機能の保持された心不全におけるCa ²⁺ 過負荷の病態への影響とその制御に関する検討.	上村大輔	臨床検査部	50万円	補委	横浜医学振興財団 心臓疾患研究助成
収縮機能の保持された心不全におけるCa ²⁺ 過負荷の病態への関与と治療ターゲットとしての可能性の探索.	上村大輔	臨床検査部	200万円	補委	横浜市立大学研究奨励プロジェクトカテゴリーA(H30年-31年度)
胃癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築.	田村寿英	消化器内科学	60万円	補委	平成30年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H28-30年度)

胃癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築.	前田 慎	消化器内科学	20万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H28-30年度)
胃癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築	芝田 渉	消化器内科学	20万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H28-30年度)
加齢に伴うmicroRNAの機能低下と発癌ポテンシャル増大の分子機構の解明と制御.	前田 慎	消化器内科学	5万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(H28-30年度)
ヘテロクロマチン由来RNAがもたらす複雑系攪乱による発癌機構解明と病態検出方法.	前田 慎	消化器内科学	5万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(H28-30年度)
ISXに着目したヒト胃オルガノイド発癌モデル作成と胃癌治療への応用.	須江聡一郎	消化器内科学	160万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(H30-31年度)
胆膵癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築.	杉森一哉	消化器内科学	60万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
胆膵癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築	前田 慎	消化器内科学	50万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
胆膵癌個別化医療実現のための3次元腫瘍バンクの構築.	芝田 渉	消化器内科学	50万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
膵ランゲルハンス島の不均一性解明に基づく膵β細胞機能の制御機構解明	白川純	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	第5回 東京未来医療フォーラム 優秀賞 研究費
糖尿病根本治療へ向けたヒト膵島を用いたトランスレーショナルリサーチ学長裁量事業 かもめプロジェクト	白川純	内分泌・糖尿病内科学	600万円	補委	研究助成 カテゴリー-B
膵島の不均一性に基づく膵島機能制御機構の解析	白川純	内分泌・糖尿病内科学	416万円	補委	科学研究費助成事業 基金 若手研究
膵ランゲルハンス島の不均一性に基づく膵β細胞機能の制御機構解明	白川純	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	ノバルティス研究助成
膵ランゲルハンス島の不均一性に基づく膵β細胞機能の制御機構解明	白川純	内分泌・糖尿病内科学	200万円	補委	武田科学振興財団 医学系研究助成(基礎)

膝ランゲルハンス島の多様性解明による糖尿病治療法開発	白川純	内分泌・糖尿病内科学	300万円	補委	持田記念医学薬学振興財団研究助成
膝β細胞量の非侵襲的定量イメージングの開発	白川純	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	MSD奨学寄付(学術研究支援)
インスリン受容体およびIGF-1受容体の両阻害薬による新規サルコペニアモデルの解析	白川純	内分泌・糖尿病内科学	150万円	補委	田辺三菱製薬グループ医学・薬学研究活動への支援
血清プロテオミクス解析により同定されたヘパトカインおよびアディポカインの糖尿病バイオマーカーとしての検討	白川純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	近藤記念医学財団 学術奨励賞 医学研究助成
全エクソームシーケンスにより同定された遺伝性糖尿病新規原因遺伝子の機能解明	白川純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	日本糖尿病協会若手研究者助成
若年発症家族性糖尿病の新規原因遺伝子の全エクソームシーケンスによる同定と機能解析	白川純	内分泌・糖尿病内科学	90万円	補委	日本糖尿病財団 コストコ研究助成金
ヒト膵島を用いた膝β細胞量増大の実現に向けた研究	白川純	内分泌・糖尿病内科学	400万円	補委	第13回 日本IDDMネットワーク1型糖尿病研究基金研究助成
グルコキナーゼ活性化による膝β細胞の運命決定.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	320万円	補委	科学研究費基盤研究(B)
Dehydroepiandrosteroneの生理作用の解明.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	30万円	補委	科学研究費基盤研究(C)
平成29年度学術研究動向調査等に関する研究.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	130万円	補委	日本学術振興会
てんかん患者の脳内ネットワーク解析と脳機能変容機序の解明.	池谷直樹	脳神経外科学	50万円	補委	日本脳神経財団 平成29年度学術助成(H29-H31)
てんかん性異常放電が脳機能ネットワークに与える影響の検討.	池谷直樹	脳神経外科学	160万円	補委	公益財団法人てんかん治療研究財団 平成30年度学術助成(H30-H32)
神経膠芽腫における低酸素領域と幹細胞ニッチの可視化及び内用放射線治療の開発	大竹 誠	脳神経外科学	403万円	補委	文部科学省科学研究費(若手研究)(2018.4-2020.3)
2光子イメージングを用いた脳梗塞後の神経再生メカニズムの解明	大竹 誠	脳神経外科学	300万円	補委	第31回日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成金(2018)
くも膜下出血の新規予後予測アプローチと、急性期脳損傷に対する革新的応用治療の開発.	高瀬 創	脳神経外科学	322万円	補委	文科省科学研究費 若手研究(B), (2018-2020)
「脳損傷後の潜在的自己回復メカニズム」.	高瀬 創	脳神経外科学	32,000万円	補委	国際ロータリー財団グローバル奨学金
「脳血管内皮と脳内神経軸索における、脳損傷後の分子メカニズム」.	高瀬 創	脳神経外科学	30,000万円	補委	国際ロータリー財団グローバル奨学金
IDH1変異神経膠腫に対するNAD+枯渇促進を目的とした修飾療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	110万円	補委	科学研究費補助金基盤研究C(2016-2018)
NF-κB経路を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法開発に向けたトランスレーショナル研究.	立石健祐	脳神経外科学	250万円	補委	横浜市立大学学長裁量事業かもめプロジェクト, (2018-2020)
NF-κB経路を標的としたABCサブタイプ悪性リンパ腫治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	60万円	補委	公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団: 第33回基礎医学医療研究助成金

IDH1変異が誘導するDNA修復機構変化の解明と合成致死性治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	公益財団法人SGH財団:SGH癌研究助成金
DNA高変異状態を呈する再発IDH1変異型神経膠腫に対する免疫制御機構の解明.	立石健祐	脳神経外科学	200万円	補委	ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社研究助成(腫瘍免疫)
中枢神経原発悪性リンパ腫に対する遺伝子変異特異的治療法開発に向けたトランスレーショナル研究.	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	讃樹会助成研究
NF-κB活性化を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法の開発に向けた多施設共同研究.	立石健祐	脳神経外科学	23万円	補委	新潟大学脳研究所 共同研究
IDH1変異が及ぼすDNA修復機構変化の解明と合成致死に基づく新規治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	200万円	補委	公益財団法人高松宮妃癌研究基金
中枢神経原発悪性リンパ腫に対する糖代謝異常を標的とした治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	50万円	補委	公益財団法人日本脳神経財団
IDH1変異が及ぼすDNA修復機構変化の解明と合成致死に基づく新規治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	80万円	補委	公益財団法人癌集学的治療研究財団:第38回一般研究助成
IDH1変異が及ぼすDNA修復機構の解明と合成致死に基づく治療法の開発.	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団;推進研究助成(2017-2019)
IDH1変異が及ぼすアポトーシス制御機構の解明とアポトーシス誘導による独創的治療法の開発.	三宅茂太	脳神経外科学	50万円	補委	公益財団法人横浜学術教育振興財団研究助成金
非骨傷性頸髄損傷に対する造血系サイトカインを用いた治療基盤の確立.	村田英俊	脳神経外科学	360万円	補委	科研費 基盤研究(C)(2017-2019)
体幹部放射線治療における呼吸性移動-四次元アルゴリズム解析と治療法の標準化-	幡多政治	放射線治療学	91万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
希少がんに対する至適治療法の解明と治療法の標準化, 新規治療法の開発に関する研究	幡多政治	放射線治療学	30万円	補委	第一三共奨学寄付プログラム
AP-1関連エクソソーム由来miRNAによる頭頸部癌転移の機能解析と早期診断	佐野大佑	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	360万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)(平成28~30年度)
ヒト乳頭腫ウイルス陽性中咽頭癌における高放射線感受性機構の解明	西村剛志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	360万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)(平成28~平成30年)
頭頸部腫瘍感受性マーカーの開発	畠山博充	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	70万円	補委	奨学寄附金
microRNAとエピゲノム解析によるHPV関連中咽頭癌予後不良因子の同定.	波多野孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	377万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究(B)
頭頸部癌転移リンパ節転移の超音波診断基準作成に関する多施設研究.	古川まどか	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	50万円	補委	一般社団法人日本超音波医学平成30年度研究会設置助成
超音波検査による頭頸部癌リンパ節転移診断基準の有効性に関する多施設研究.	古川まどか	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	110万円	補委	(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)(平成28~平成30年)

嚥下機能評価における頸部超音波診断の有用性に関する研究.	古川まどか	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	12万円	補委	平成30年度かながわ県立病院がん基金研究助成金
癌オルガノイドによる高MTV腫瘍における放射線抵抗機序の解明.	矢吹健一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	247万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤C(2017-2019年)
慢性そう痒性皮膚疾患の難治化機序の解明と新規治療薬の開発.	相原道子	皮膚科学	40万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究◎日本学術振興会
新規分子標的薬による皮膚障害の調査および重症化予防の研究.	相原道子	皮膚科学	884万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)AMED
複数の免疫学的重篤副作用に関する遺伝学的要因及び感染症要因の同定と安全対策への応用に関する研究.	相原道子	皮膚科学	45万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)AMED
官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発.	相原道子	皮膚科学	550万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)AMED
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究.	相原道子	皮膚科学	100万円	補委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)厚生労働省
人口知能を活用した副作用症例報告の評価支援の基盤整備と試行的評価.	相原道子	皮膚科学	45万円	補委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人口知能実装研究事業)厚生労働省
乾癬におけるカベオリン発現異常と末梢血単球の機能解析.	山口由衣	皮膚科学	100万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)日本学術振興会
新規分子標的薬による皮膚障害の調査および重症化予防の研究.	山口由衣	皮膚科学	50万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)AMED

医師のノンテクニカルスキル習得 および向上のための基盤構築に 関する研究.	菊地龍明	医療安全・医療管理 学	480万円	補 委	科学研究費補 助金 基盤研 究(B)(一般) (平成28年度～ 平成30年度)
肝胆膵癌周術期患者における術 前運動介入および栄養介入によ る効果に関する研究.	中村 健	リハビリテーション科 学	100万円	補 委	学術的研究推 進事業
神経・神経疾患の新しいPET診 断法開発.	中村 健	リハビリテーション科 学	20万円	補 委	戦略的研究推 進事業
中高年期障害者の健康増進シス テムの開発に関する研究.	中村 健	リハビリテーション科 学	180万円	補 委	日本医療研究 開発機構 (2016-2018)
脊髄損傷後疼痛の発症にかかわ る中枢神経系の機能的・構造的 変化の探索.	中村 健	リハビリテーション科 学	95万円	補 委	日本医療研究 開発機構 (2017-2019)
スモン患者の自律神経機能と運 動能力に関する研究.	中村 健	リハビリテーション科 学	100万円	補 委	厚生労働省科 学研究費補助 金
長期精神病院入院患者のロコモ ティブシンドロームに対する研究.	中村 健	リハビリテーション科 学	95万円	補 委	生労働省科学 研究費補助金
新規ロボットリハビリテーション装 置を用いた歩行訓練の開発と有 効性の検討.	荒川英樹	リハビリテーション科 学	299万円	補 委	文部科学省科 学研究費補助 金若手研究 (2018-2019)
診療報酬請求書情報を用いた重 度痙縮の医療経済的検討.	根本明宜	リハビリテーション科 学	50万円	補 委	学術研究助成 基金助成金 基盤研究 (C)(2016- 2019)
中枢神経疾患に伴う痙縮が疼痛 に与える影響について	根本明宜	リハビリテーション科 学	30万円	補 委	奨学寄付金, 第一三共株式 会社
血管内治療を応用したリンパ浮腫 の新たな治療に関する基礎研究.	前川二郎	形成外科学	240万円	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金基盤 研究(C) (2018年～ 2020年)
口唇口蓋裂に対する自己多血小 板血漿/フィブリンと臍帯幹細胞を 用いた顎裂部骨形成法の開発	小林眞司	形成外科学	468万円	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金基盤 研究(C) (2017年～ 2019年)
原発性リンパ浮腫患者に対する 新たな治療法の開発(サイトカ インを標的とした治療).	三上太郎	形成外科学	429万円	補 委	文部科学省学 術研究助成基 金助成金基盤 研究(C) (2017年～ 2019年)
臨床試験を目指す3次元細胞培 養システムを用いた革新的ヒト弾 性軟骨デバイス創出(2017年～ 2019年)	小林眞司	形成外科学	15万円	補 委	医療分野研究 成果展開事業 産学連携医療 イノベーション 創出プログラ ム(ACT-M) (2017年～ 2019年)
脂肪移植による乳がん術後の乳 房再建専用医療器の開発ライフ イノベーション分野	佐武利彦	形成外科学	350万円	補 委	産学連携等推 進事業費補助 金「LIP.横浜 推進プロジェ クト」.
乳房再建におけるアウトカム指標 の確立と科学的根拠に基づいた 患者意思決定支援.	佐武利彦	形成外科学	45.3万円	補 委	日本医療研究 開発機構 (AMED) 革新 的がん医療実 用化研究事 業.(2017年 ～2020年)
careとcureを融合した看護薬剤学 モデルの開発.	佐武利彦	形成外科学	20万円	補 委	日本学術振興 会:基盤研究 (B), (2017年 ～2019年).

脂肪移植による放射線照射後の乳房皮膚の改善度調査.	武藤真由	形成外科学	240万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(B) (2017-2019)
ヒト軟骨前駆細胞由来膜状軟骨によるオーダーメイド軟骨再構築法の開発.	鍵本慎太郎	形成外科学	234万円	補委	平成29年度科学研究費助成事業 若手(B) (2017年~2019年)
カンクイザル耳介軟骨前駆細胞の特性解析と自家細胞移植による有効性評価.	矢吹雄一郎	形成外科学	370万円	補委	科学研究費補助金事業基盤(C) (2017年~2019年)
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	平成30年度横浜総合医学振興財団推進研究助成
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補委	第33回会原一郎記念医学医療振興財団基礎医学医療研究助成金
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	2018年度日本血液学会研究助成金
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	300万円	補委	第50回内藤記念科学振興財団内藤記念科学奨励金・研究助成金
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	120万円	補委	2018年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成金
クローン造血制御による新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	200万円	補委	2018年度公益財団法人アステラ
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	第47回かなえ医薬振興財団研究助成金
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	平成30年度公益財団法人鈴木謙三記念医学応用研究財団調査研究助成金
クローン造血制御を介した新規白血病予防法の創成.	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	200万円	補委	平成30年度上原記念生命科学財団研究助成
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	200万円	補委	高松宮妃禧研究基金研究助成金
白血病幹細胞特異的なDNA損傷修復機構の解明と新規治療法の開発.	宮崎拓也	血液・免疫・感染症内科学	169万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) (H29-31年度)
O-GlcNAc糖鎖修飾による正常造血と異常造血の分子制御メカニズム.	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	110万円	補委	平成29年度学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(平成29年~平成31年度)

全身性エリトマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害薬の開発.	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	70万円	補委	2017年度 免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)(2017年度～2019年度)
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究.	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	38.4万円	補委	感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業(2017年度～2019年度)
白血球幹細胞特異的なDNA損傷修復機構の解明と新規治療法の開発.	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	20万円	補委	平成29年度学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(平成29年～平成31年度)
血球転写因子を介した白血球幹細胞の生成維持に関わる代謝リプログラミング機構の解明.	高橋寛行	血液・免疫・感染症内科学	110万円	補委	平成29年度学術研究助成基金助成金(若手研究(B))(平成29年～平成31年度)
全身性エリトマトーデスにおけるTRIMファミリーの役割について.	神山玲光	血液・免疫・感染症内科学	90万円	補委	平成30年度学術研究助成基金助成金(若手研究)(平成30年度～令和2年)
リウマチ炎症性疾患およびヒト免疫不全ウイルス感染症におけるTRIMファミリーの機能解析.	神山玲光	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補委	横浜総合医学振興財団 平成30年度「わかば研究助成」
ペーチェット病に関する調査研究(水木信久)	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	40万円	補委	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 (2017年度～2019年度)
分子標的薬による皮膚障害の調査研究(相原道子)	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	40万円	補委	日本医療研究開発機構研究費 免疫アレルギー
シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシズマブの医師主導治験(川上 純).	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	日本医療研究開発機構 希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化事業:医師主導治験(ステップ2)(2017年度～2019年度)
臨床症状と遺伝素因に基づくペーチェット病の亜群分類(岳野光洋).	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤(C)(2017年度～2019年度)

成人自己炎症性疾患の遺伝学的病態解明と治療法の開発.	土田奈緒美	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補委	横浜総合医学振興財団 平成30年度「わかば研究助成」
関節リウマチにおけるTRIM-IRF系の新規治療ターゲットとしての可能性の検討.	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	133万円	補委	ブリストル・マイヤーズ株式会社, 第2回ブリストル・マイヤーズ関節リウマチ臨床研究助成(2016年1月~2018年12月)
リウマチ性疾患におけるTh17細胞依存性免疫応答を標的とする新規治療法の探索.	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	武田科学振興財団: 医学系研究奨励(2016年11月~2019年3月)
原発性リンパ浮腫患者に対する新たな治療法の開発(サイトカインを標的とした治療)	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補委	日本学術振興会: 科学研究費補助金基盤研究(C), (2017年4月~2020年3月)
膠原病疾患におけるTh17細胞性免疫応答の新規制御方法について.	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	150万円	補委	持田記念医学薬学振興財団: 研究助成(2017年9月~2018年12月)
膠原病におけるエピゲノム修飾を治療標的とした新規治療法の探索.	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	日本リウマチ財団: リウマチ性疾患調査・研究助成(2018年4月~2019年3月)
カンジダ真菌血症の発症リスクと治療、マネージメントに関する研究.	加藤英明	血液・免疫・感染症内科学	70万円	補委	塩野義製薬株式会社: 研究助成(2018年4月~2019年3月)
薬剤耐性遺伝子のサブタイプ解析と抗菌薬感受性表現型の調査研究.	加藤英明	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補委	MSD株式会社: 研究助成(2018年4月~2019年3月)
COPDの発症リスクと予後予測の新規バイオマーカーの開発.	金子 猛	呼吸器病学	50万円	補委	平成30年度学術研究助成金基盤研究(C)(H28-30年度)
非扁平上皮非小細胞癌への殺細胞性抗癌剤効果予測タンパク質のプロテオミクス探索.	金子 猛	呼吸器病学	30万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
吸入療法イノベーションの実現: 高分子・抗体医薬の経気道投与による肺癌治療戦略	佐藤 隆	呼吸器病学	270万円	補委	平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(H30-31年度)

乳酸オリゴDNAを有効成分とする 経口用ナノカプセルを用いた免 疫調整機構の解明	佐藤 隆	呼吸器病学	20万円	補 委	平成30年度科 学研究費助成 事業(学術研 究助成基金助 成金)基盤研 究(B)(2017- 2020年度)
COPDの発症リスクと予後予測の 新規バイオマーカーの開発.	原 悠	呼吸器病学	35万円	補 委	平成30年度学 術研究助成金 基盤研究(C) (H28-30年 度)
非扁平上皮非小細胞癌への殺細 胞性抗癌剤効果予測タンパク質 のプロテオミクス探索.	原 悠	呼吸器病学	20万円	補 委	平成30年度科 学研究費助成 事業(学術研 究助成基金助 成金)基盤研 究(C)(H29- 31年度)
整形外科エコーガイド下手術用 手術器具の研究と試作.	川端 祐介	整形外科学	100万円	補 委	横浜市リー ディング事業 助成金(2018)
スクレロstinによる内軟骨性骨 化の制御と骨・軟骨修復への応 用.	熊谷 研	整形外科学	143万円	補 委	科学研究費補 助金 基盤研 究(C)(2017- 2019年度)
GFPラットとの血管吻合ラット抜歯 窩骨欠損修復部位の超音波刺激 による骨髄細胞動員.	熊谷 研	整形外科学	10万円	補 委	科学研究費補 助金 基盤研 究(C)(2017- 2019年度)
全自動リアルタイムPCRを用いた インプラント周囲感染の迅速診 断.	崔 賢民	整形外科学	416万円	補 委	平成30年度科 学研究費助成 事業(学術研 究助成基金助 成金)
大腿骨寛骨臼インピンジメントを 含む股関節疾患の多施設疫学調 査.	稲葉 裕	整形外科学	350万円	補 委	平成30年度日 本整形外科学 会プロジェクト 研究(2018)
リアルタイム個別筋活動評価によ る変形性股関節症の病態把握と 治療評価.	稲葉 裕	整形外科学	130万円	補 委	平成30年度科 学研究費補助 金(基盤研究 (C))(2018)
人工関節周囲感染における新し い診断ツールの開発.	稲葉 裕	整形外科学	30万円	補 委	平成30年度科 学研究費補助 金(基盤研究 (C))(2018)
股関節鏡視下手術におけるコン ピュータ支援手術の開発と臨床 応用.	稲葉 裕	整形外科学	10万円	補 委	平成30年度科 学研究費補助 金(基盤研究 (C))(2018)
特発性大腿骨頭壊死症の医療水 準及び患者のQOL向上に関する 大規模多施設研究(H29-難治等 (難)一般-053).	稲葉 裕	整形外科学	10万円	補 委	平成30年度厚 生労働科学研 究費補助金 (難治性疾患 克服研究事 業)(2018)
股関節骨切り術・人工股関節置 換術のための手術支援ナビゲ ーションシステムの開発.	稲葉 裕	整形外科学	300万円	補 委	LIP.横浜推進 プロジェクト、 平成30年度ラ イフイノベー ション分野産 学連携等推進 事業費補助金 「LIP.横浜推 進プロジェクト」(継続) (2018)

人工関節周囲感染の診断と治療における人工知能(AI)によるアルゴリズム開発.	稲葉 裕	整形外科学	700万円	補 委	平成30年度ライフイノベーション分野産学連携等推進事業費補助金「LIP.横浜推進プロジェクト」(継続)(2018)
過敏性腸症候群(Irritable Bowel Syndrome:IBS)に対する漢方製剤・桂枝加芍薬湯の治療効果の検証研究 多施設二重盲検無作為対照試験.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	490万円	補 委	平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
Fusobacterium nucleatumに注目した大腸癌の新規スクリーニングと予防法の開発.	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	410万円	補 委	平成28年度日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究.	斉藤 聡	肝胆膵消化器病学	20万円	補 委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)
血液バイオマーカーを用いた効率的な膵がん検診の実用化.	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	60万円	補 委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)受託研究費
タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発.	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	20万円	補 委	平成28年度日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)受託研究費
HCV感染とNASH病態進展の違い.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	77万円	補 委	平成28年度日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)受託研究費
小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	20万円	補 委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))
NAFLD病態における腸内細菌と腸内代謝物の役割解明.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	572万円	補 委	平成30年度学術研究助成基金助成金(基盤研究(B))(H29-R2)
NAFLDにおけるアミノ酸欠乏の病態への役割解明.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	260万円	補 委	学術研究助成基金助成金(挑戦的研究(萌芽))(H29-H30)
NASH由来肝細胞癌における腸内細菌の役割を検討する.	今城健人	肝胆膵消化器病学	143万円	補 委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H29-R2)
NAFLD病態における腸内細菌と腸内代謝物の役割解明.	今城健人	肝胆膵消化器病学	40万円	補 委	平成30年度学術研究助成基金助成金(基盤研究(B))(H29-R2)
非アルコール性脂肪性肝炎のFocal cirrhosisと肝細胞癌の関連解明.	米田正人	肝胆膵消化器病学	130万円	補 委	平成30年度学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H30-R3)

小計13

オルガノイドを用いた大腸腫瘍化学予防効果の網羅的解析システムの開発.	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	208万円	補委	平成30年度 学術研究助成 基金助成金 (基盤研究 (C)) (H30-R 3)
メトホルミンによる膵がん化学予防 の検討.	細野邦広	肝胆膵消化器病学	169万円	補委	平成30年度 学術研究助成 基金助成金 (基盤研究 (C)) (H30-R 3)
非アルコール性脂肪性肝疾患を 背景にした肝癌研究(新規モデ ルの作成および化学予防).	本多 靖	肝胆膵消化器病学	143万円	補委	平成30年度 学術研究助成 基金助成金 (若手研究) (H30-R3)
難治性がんの代表である膵癌の 包括的理解と革新的治療法開発 への挑戦.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	250万円	補委	学長裁量事業 かもめプロジェ クト
胆汁酸性下痢症の新規診断法の 開発および、陰イオン交換樹脂に よる革新的治療法の開発.	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	200万円	補委	学長裁量事業 かもめプロジェ クト(H30-R3)
NAFLD/NASH病態における腸 内細菌と遺伝因子.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	300万円	補委	学長裁量事業 平成30年度戦 略的研究推進 事業 研究開 発プロジェクト (H30-R1)
NASHモデルにおけるペマフィブ ラート、トホグリフロジン及びその 併用効果に関する研究	中島 淳	肝胆膵消化器病学	500万円	補委	共同研究費
SGL5213の腸管バリア機能及び NASH病態進展に対する効果.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	867万円	補委	共同研究費
糖尿病を合併した非アルコール 性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 患者 におけるトホグリフロジンの肝脂肪	米田正人	肝胆膵消化器病学	2,000万円	補委	受託研究費 (H29-31)
Faecalibacterium prausnitziiの非 アルコール性脂肪肝炎治療効果 に対するメカニズム解析	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	50万円	補委	2018年度 奨 学寄付(学術 研究支援)
A proof-of-concept (POC) study to evaluate the therapeutic effect of lubiprostone in patients with	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	10,000万円	補委	受託研究費
ヒトオルガノイド細胞株を用いたが ん臨床シークエンス意義不 明変異の機能評価法の確立.	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	一般財団法人 横浜総合医学 振興財団 平 成30年度 推 進研究助成
胆膵領域がんにおけるAMPA受 容体シグナル伝達系に着目した 新規診断・治療法の開発.	長谷川翔	肝胆膵消化器病学	50万円	補委	一般財団法人 横浜総合医学 振興財団 平 成30年度 わ かば研究助成
新規治療薬開発に適したマウス 胆嚢癌同所移植モデルの開発.	小川祐二	肝胆膵消化器病学	30万円	補委	一般財団法人横 浜総合医学振 興財団 平成 30年度 指定 寄附研究助成
AMEDがん研究課・海外(短期)研 修・留学支援プロジェクト	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	50万円	補委	次世代がん医 療創生研究事 業/革新的が ん医療実用化 研究事業 MD Anderson Cancer Center
非B非C肝がんにおけるK-887の 効果に関する研究.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	504万円	補委	共同研究(H 27-H30)
便秘症を有する非アルコール性 脂肪肝疾患Non Alcoholic Fatty Liver Disease (NAFLD)に対する	中島 淳	肝胆膵消化器病学	4,000万円	補委	平成28年度受 託研究(H28- R3)
SGL5213の腸管バリア機能及び NASH病態進展に対する効果.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	780万円	補委	共同研究費 (H30-R2)
慢性便秘症に対するビフィズ菌 製剤の有効性を検証する単群試 験.	中島 淳	肝胆膵消化器病学	113万円	補委	受託研究費 (H29-R2)

自家心膜のグルタルアルデヒド処理と抗石炭化処理に関する研究.	益田宗孝	外科治療学	55万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究C (2018-2020年度), 2018年度
大動脈瘤化および大動脈解離発生のメカニズム解明と予防治療の確立.	鈴木伸一	外科治療学	80万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究C (2017-2019年度), 2018年度
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 次世代がん医療創生研究事業一次公募・応	油谷浩幸	外科治療学	406万円	補委	応用研究 (2018 年度)
少数個転移 (オリゴメタステーシス) を示した肺癌の病理学的特性.	禹 哲漢	外科治療学	91万円	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業 基礎研究 (C) (2016-2018年度), 2018年度
特発性間質性肺炎に合併する肺腺癌の病理学的特性と組織発生.	奥寺康司	外科治療学	10万円	補委	日本学術振興会科学研究費助成事業 基礎研究 (C) (2017-2019年度), 2018年度
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究.	石部敦士	消化器・腫瘍外科学	520万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (B) (2018-2021)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究.	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (B) (2018-2021)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究.	鈴木紳祐	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (B) (2018-2021)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究.	渡邊 純	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (B) (2018-2021)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明.	藪下泰宏	消化器・腫瘍外科学	80万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2017-2019)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明.	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2017-2019)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明.	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2017-2019)
ALPPS手術による残肝容量増大メカニズムの解明.	田中邦哉	消化器・腫瘍外科学	30万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2016-2018)
ALPPS手術による残肝容量増大メカニズムの解明.	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	70万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2016-2018)
ABC輸送体による脂質メディエーター排出が乳癌微小環境に及ぼす影響.	山田顕光	消化器・腫瘍外科学	50万円	補委	文部科学省科学研究費 若手研究 (B) (2016-2018)
乳癌における遺伝子多型の解明及び薬剤感受性とPrecision Medicine.	市川靖史	消化器・腫瘍外科学	40万円	補委	文部科学省科学研究費 基礎研究 (C) (2016-2018)

セボフルランによる抗不安効果発現の神経回路同定とその分子メカニズムの解明。	後藤隆久	麻酔科学	300万円	補委	学術研究助成基金 基盤研究(B) (平成28年度～平成30年度)
Arginase 阻害による肺高血圧治療の検討。	新堀博展	麻酔科学	170万円	補委	学術研究助成基金 基盤研究(C) (平成28年度～平成30年度)
幼若動物の鎮静耐性におけるカリウム-塩素イオン共輸送担体の機能解析と治療法開発。	安藤富男	麻酔科学	100万円	補委	学術研究助成基金 基盤研究(C) (平成28年度～平成30年度)
protein kinase Dによる血管収縮制御の解明と血管障害への応用。	水野祐介	麻酔科学	110万円	補委	学術研究助成基金 基盤研究(C) (平成29年度～平成31年度)
間質系幹細胞のexosomeを利用したmicroRNAによる肺高血圧治療の検討。	渡邊 至	麻酔科学	110万円	補委	学術研究助成基金 基盤研究(C) (平成29年度～平成31年度)
プログラムネクロシスがARDS及び続発する遠隔臓器傷害に与える影響の検討。	東條健太郎	麻酔科学	110万円	補委	学術研究助成基金 若手研究(B) (平成29年度～平成31年度)
新生仔期NMDA受容体遮断がラットの時間知覚に及ぼす影響の神経メカニズム解明。	新倉 怜	麻酔科学	70万円	補委	学術研究助成基金 若手研究(B) (平成29年度～平成31年度)
ARDS、敗血症性多臓器不全に対する細胞種特異的なPHD2阻害による治療戦略。	柏木 静	麻酔科学	90万円	補委	学術研究助成基金 若手研究(B) (平成29年度～平成31年度)
活動性心筋炎による難治性重症心不全に対する新たな治療法の開発。	竹内 一郎	救急医学	429万円	補委	平成30年度文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)3年
都市部慢性疾患高齢者における救急搬送モデル実装を目的とした探索的研究。	竹内 一郎	救急医学	130万円	補委	平成30年度消防防災科学技術研究推進制度1年
緊急度判定プロトコルの精度の向上・現場での活用に関する研究。	森村尚登	救急医学	1,000万円	補委	平成30年度消防防災科学技術研究推進制度1年
大規模災害に対する地域災害医療計画策定のための新たな災害医療需給均衡指標(災害医療リスクソース比)の導入に関する研究。	森村尚登	救急医学	300万円	補委	平成30年度厚生労働行政推進調査事業補助金(厚生労働科学特別研究事業)1年
卵巣明細胞腺癌の血液凝固異常・抗がん剤耐性に着目したトランスレーショナルリサーチ。	宮城悦子	産婦人科学	85万円	補委	科学研究費助成事業/基盤研究(C), 2017-2019
妊娠初期の感染性疾患スクリーニングが母子の長期健康保持増進に及ぼす影響に関する研究。	宮城悦子	産婦人科学	654万円	補委	厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)), 2018-2020
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究。	宮城悦子	産婦人科学	242万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業), 2017-2019

HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究.	宮城悦子	産婦人科学	80万円	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業), 2017-2019
本邦の先天異常発生状況の推移とその影響要因に関する研究.	倉澤健太郎	産婦人科学	600万円	補委	平成29年日本医療研究開発機構・成育疾患克服等総合研究事業
先天異常モニタリングに関する研究.	倉澤健太郎	産婦人科学	300万円	補委	日本産婦人科医会おぎや一献金基金
妊婦の風疹罹患及び先天性風疹症候群の発生抑制等胎児期の罹患予防に関する研究: 振興・再興	倉澤健太郎	産婦人科学	80万円	補委	日本医療研究開発機構
子宮頸部上皮内病変(Cervical intraepithelial neoplasia: CIN)悪性化の機序解明と薬物療法の開発. 細胞極性蛋白atypical protein kinase C λ/ι (aPKC)のエクソサイトーシスを介した細胞浸潤能獲得.	水島大一	産婦人科学	100万円	補委	平成30-31年度学長裁量事業第2期学術的研究推進事業「研究奨励プロジェクト・カテゴリA(若手支援型)」, 2018-2020
Shingo Fujii Young Doctors Summit Travel Grant	鈴木幸雄	産婦人科学	10万円	補委	(IGCS 2018)
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の開発.	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費 (AMED)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究.	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策研究事業)(H29-R1年度))
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の確立.	伊藤秀一	小児科学	30万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策研究事業)(H29-R1年度))
子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル)	伊藤 秀一	小児科学	8,420万円	補委	(H26-R9年度)
糖質コルチコイド投与による動脈管リモデリングへの作用の解明.	釧持孝博	小児科学	200万円	補委	平成30年度学術的推進事業「研究奨励プロジェクト」・カテゴリA「若手支援型」(平成30-31年度)
高リスク小児急性骨髄性白血病における多角的な遺伝子解析を用いた分子標的の同定	柴 徳生	小児科学	104万円	補委	若手B(平成28年)
網羅的な遺伝子解析を用いた小児AMLにおける高精度リスク層別化の確立.	柴 徳生	小児科学	300万円	補委	革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
網羅的DNAメチル化解析による再発難治小児急性骨髄性白血病の病態解明.	柴 徳生	小児科学	100万円	補委	川野医学奨学財団
PRDM16/MECOM 高発現急性骨髄性白血病の病態解明.	柴 徳生	小児科学	100万円	補委	日本血液学会
急性骨髄性白血病におけるPRDM16高発現症例に対する新規分子標的の同定.	柴 徳生	小児科学	30万円	補委	横浜医学

ゲノム薬理学的解析とプロテオーム解析を用いた薬剤性中枢神経障害の病態解明.	竹内正宣	小児科学	30万円	補委	科学研究費基礎研究(C)(2017-2019年度)
赤ちゃんにやさしい病院における母乳育児ベンチマークの作成.	西巻滋	小児科学	350万円	補委	科研費基盤研究(C)(2016年-2018年)
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の開発.	西村謙一	小児科学	50万円	補委	平成30年度日本医療研究開発機構研究費(AMED)
母体へのベタメタゾン追加投与が動脈管閉鎖へ与える効果の検討.	釧持孝博	小児科学	208万円	補委	科研費(若手研究)
糖質コルチコイド投与による動脈管リモデリングへの作用の解明.	釧持孝博	小児科学	100万円	補委	研究奨励プロジェクトA. 横浜市立大学学術的研究推進事業.
手術支援のための人腹腔の力学シミュレーションの高度化.	槇山和秀	泌尿器科学	720万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究B(2016-2019年)
ヒトiPS細胞由来ネフロン誘導法に基づく腎細胞癌多段階発がん機構と治療開発基盤.	矢尾正祐	泌尿器科学	468万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究(B)
FLCN遺伝子および細胞内代謝経路に着目した腎癌腫瘍化機構の解析研究.	矢尾正祐	泌尿器科学	169万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究◎
FDG PET/CTを活用した分子標的治療抵抗性腎癌に対する新規治療法の開発.	矢尾正祐	泌尿器科学	91万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究◎
ベーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科学	223.9万円	補委	(文科研)
多民族の円錐角膜患者を対象としたゲノムワイド関連解析	水木信久	眼科学	20万円	補委	基盤研究 C (H29~H31) (課題番号: 17K11459)
ベーチェット病患者のインフリキシマブ離脱のための無作為化非盲検並行群間対象研究	水木信久	眼科学	20万円	補委	基盤研究 C (H29~H31) (課題番号: 17K11428)
ベーチェット病の病因HLAと病因ペプチドの結合を阻害する医薬分子の特定	水木信久	眼科学	20万円	補委	基盤研究 C (H30~H32) (課題番号: 1818K09454)
網膜格子状変性を対象とした分子遺伝学的発症機序の解明	水木信久	眼科学	20万円	補委	基盤研究 C (H30~H32) (課題番号: 1818K094534)
臨床研究と遺伝素因に基づくベーチェット病の亜群分類	水木信久	眼科学	5万円	補委	基盤研究 C (H29~H30) (課題番号: 1717K09999)
磁性造影剤と磁気プローブを用いた新しい口腔癌センチネルリンパ節同定法の確立.	岩井俊憲	口腔外科学	200万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究(C). 2018年度
口腔癌に対する磁気式カテーテルナビゲーションシステムの要求仕様と精度評価の研究.	大屋貴志	口腔外科学	85万円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手(B). 2018年度
温熱療法とIL-1R阻害薬の臨床応用に向けた併用療法の開発.	小栗千里	口腔外科学	190万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究(C). 2018年度
再発口腔癌に誘導されるCD206+予後マーカーおよび治療標的としての可能性.	來生 知	口腔外科学	300万円	補委	文部科学省科学研究費補助基金基盤研究(B). 2018年度

腫瘍治療電場(TTF)を用いた口腔癌に対する低侵襲治療の開発.	小泉敏之	口腔外科学	94万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
aPKC λ/ι の口腔癌悪性度への関与-予後サロゲートマーカーとしての有用性-	馬場隼一	口腔外科学	160万円	補委	文部科学省科学研究費補助金若手研究. 2018年度
下顎再建用スキャホールドの骨芽細胞誘導能を最適化する紫外線光触媒効果の基礎的研究.	廣田 誠	口腔外科学	80万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
口腔癌に対する温熱療法と分子標的薬Interleukin-6阻害薬の併用療法.	光藤健司	口腔外科学	208万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
口腔扁平上皮癌のリンパ節転移能の獲得に伴う免疫抑制機構の改変とその調節因子の制御.	近藤信夫	口腔外科学	143万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
進行口腔癌の原発及び頸部リンパ節転移に対する陽子線治療効果の解明.	高山香名子	口腔外科学	146万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
骨結合型チタンスキャホールドによるヒト下顎骨再建シミュレーション.	高須 曜	口腔外科学	81万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	千葉由美	口腔外科学	325万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B). 2018年度
口腔癌における磁性抗EGFR抗体を用いた温熱療法の開発.	中島英行	口腔外科学	123万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
HIV感染者を対象とした口腔癌の予防に関する研究.	筑丸 寛	口腔外科学	132万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C). 2018年度
口腔癌に対する新規選択的薬物送達による革新的低侵襲治療の開発.	藤内 祝	口腔外科学	360万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B). 2018年度
パニック症における安静時脳機能, 脳構造, 自律神経機能との関連.	浅見 剛	精神医学	468万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金基盤(C)(平成29年))
自殺念慮を抱える子どもの幻聴体験と自殺企図リスクに関する研究.	藤田純一	精神医学	468万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(一般)
難治性精神疾患における抗NMDA受容体抗体と脳神経線維構造の関連について.	千葉悠平	精神医学	403万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(B)(2017年-2019年)
精神疾患類似の橋本脳症における抗神経抗体の病原性と脳機能障害の解明.	斎藤知之	精神医学	416万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(B)(2017年-2019年)

有効性が示されている心理社会的介入プログラムの脳構造への影響.	吉見明香	精神医学	494万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(一般)
臨床研修医を対象とした自殺予防教育プログラムの開発に関する研究.	井上 佳祐	精神医学	90万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(2018年-2020年)
WHO の自殺予防戦略に基づくがん患者自殺予防プログラムの開発.	井上 佳祐	精神医学	90万円	補委	厚生労働科学研究費補助金がん政策研究事業(代表者:松岡 豊)(2018年度)
てんかん患者の自律神経活動に影響を及ぼす臨床的要因の検討.	白石洋子	精神医学	50万円	補委	ノバルティスファーマ研究助成2017(平成29年)
医療介護職の怒り感情マネジメント教育プログラムの構築.	田辺有理子	精神医学	468万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(一般), 2016-2020年度
気分障害患者における自律神経活動動態とリワークプログラム有効性の研究.	岸田郁子	精神医学	429万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 2016-2018年
1H-MRS法を用いた脳内代謝物の測定に関する研究(継続)	相田典子	放射線診断学	15万円	補委	平成30年度かながわ県立病院小児医療基金
AIによる臨床画像診断を目指すための複合ディープラーニングネットワークの開発研究.	相田典子	放射線診断学	39万円	補委	平成30年度文科省学術研究助成基金助成金
新生児の複合脳画像診断法の確立.	相田典子	放射線診断学	20.5万円	補委	平成30年度文科省学術研究助成基金助成金
ゲノム薬理学的解析とプロテオーム解析を用いた薬剤性中枢神経障害の病態解明.	相田典子	放射線診断学	13万円	補委	平成30年度文科省学術研究助成基金助成金
1H-MRS法を用いた内臓腫瘍・骨軟部腫瘍内代謝物の測定に関する研究(継続).	野澤久美子	放射線診断学	12万円	補委	平成30年度かながわ県立病院小児医療基金
先天性呼吸器・胸郭形成異常疾患に関する診療ガイドライン作成ならびに診療体制の構築・普及	野澤久美子	放射線診断学	20万円	補委	平成30年度厚生労働科学研究費
新規技術を用いた小児脳幹部MRI画像診断に関する研究.	藤井裕太	放射線診断学	12万円	補委	平成30年度かながわ県立病院小児医療基金
頭部MRI arterial spin labeling(ASL)画像を用いた小児の画像診断に関する研究.	藤田和俊	放射線診断学	13万円	補委	平成30年度かながわ県立病院小児医療基金
日本発放射性薬剤 ⁶⁴ Cu-ATSMを用いた悪性脳腫瘍に対する革新的治療法の開発研究.	栗原宏明	放射線診断学	9,997万円	補委	AMED革新的医療シーズ実用化研究事業(平成29年度-31年度)

傍シルビウス裂症候群の包括的なゲノム解析.	宮武聡子	遺伝子診療科	65万円	補委	文科省科学研究費 基盤研究(C)(H29-H31年度)
脳小血管病の新規疾患責任遺伝子同定.	宮武聡子	遺伝子診療科	150万円	補委	川野小児医学奨学財団研究助成
有効性が示されている心理社会的介入プログラムの脳構造への影響.	吉見明香	緩和ケアセンター	494万円	補委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(一般)
ガングリオシドーシスの中枢神経系における炎症のメカニズムの解明.	山中正二	病態病理学	120万円	補委	科学研究費 基盤研究(C)
核医学診療における放射性同位元素による汚染時サーベイランス評価法の検討.	尾川 松義	放射線部	20万円	補委	平成30年度医療技術研究助成
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	50万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	110万円	補委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
運動失調症の医療基盤に関する調査研究.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	70万円	補委	平成30年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	30万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	40万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
多系統萎縮症における低尿酸血症による病態解明.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	30万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成29年-平成31年)
3次元運動解析装置を利用した小脳性運動失調の多角的評価法の確立.	田中章景	神経内科・脳卒中医学	10万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成28年-平成30年)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	90万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性グリアを標的とした進行型多	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	120万円	補委	(AMED)難治性疾患実用化研究事業
単球系細胞形質転換因子による神経変性疾患の治療法開発.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	300万円	補委	内藤記念振興財団
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	25万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)

神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	25万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析.	竹内英之	神経内科・脳卒中医学	40万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発.	土井 宏	神経内科・脳卒中医学	85万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
SCA42モデルマウスの作成に基づく病態解明と治療法開発.	土井 宏	神経内科・脳卒中医学	200万円	補委	公益財団法人武田科学振興財団(2018年医学系研究助成)
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発.	土井 宏	神経内科・脳卒中医学	25万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発.	土井 宏	神経内科・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析.	土井 宏	神経内科・脳卒中医学	40万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
多系統萎縮症における低尿酸血症による病態解明.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中医学	40万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成29年-平成31年)
3次元運動解析装置を利用した小脳性運動失調の他覚的評価法の確立.	児矢野 繁	神経内科・脳卒中医学	5万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成28年-平成30年)
モーフィング課題を用いたLevy小体認知症の病態解明.	岡本光生	神経内科・脳卒中医学	220万円	補委	文部科学省研究費挑戦的研究(平成29年-平成31年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析.	田中健一	神経内科・脳卒中医学	60万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
ALSにおけるポリグルタミン凝集体結合タンパク質DDX-17異常蓄積の病態解明.	多田美紀子	神経内科・脳卒中医学	130万円	補委	文科省科学研究費若手研究(B)(平成29年-平成30年)
DEAD box ヘリカーゼの弧発性ALS病態における役割の解明.	多田美紀子	神経内科・脳卒中医学	100万円	補委	公益信託「生命の彩」ALS研究助成基金
多系統萎縮症における低尿酸血症による病態解明.	多田美紀子	神経内科・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成29年-平成31年)

アルツハイマー病のタウ病態からみたインフラマソームの機能解明と治療法開発.	勝元敦子	神経内科・脳卒中医学	190万円	補委	文部科学省研究費若手研究(平成30年-平成31年)
3次元運動解析装置を利用した小脳性運動失調の多角的評価法の確立.	東山雄一	神経内科・脳卒中医学	5万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成28年-平成30年)
電位依存性カルシウムチャネル関連疾患の分子病態基盤の解明.	国井美紗子	神経内科・脳卒中医学	130万円	補委	文部科学省研究費若手研究(B)(平成29年-平成30年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発.	国井美紗子	神経内科・脳卒中医学	15万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
多発性硬化症の病勢診断における血液バイオマーカーの開発.	高橋慶太	神経内科・脳卒中医学	200万円	補委	文部科学省研究費若手研究(平成30年-平成31年)
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発.	高橋慶太	神経内科・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
CRMP2の機能解明に基づく神経変性疾患の治療法開発.	中村治子	神経内科・脳卒中医学	190万円	補委	文部科学省研究費若手研究(平成30年-平成31年)
成人白質脳症の臨床・遺伝学的背景の解明と新規遺伝子同定.	三宅綾子	神経内科・脳卒中医学	190万円	補委	文部科学省研究費若手研究(平成30年-平成31年)
ASLにおけるMatrin3関連病態機序の解明.	三宅綾子	神経内科・脳卒中医学	200万円	補委	2018年度内藤記念助成研究者研究助成金,(平成30年-32年)
コンディショナルノックアウトマウスを用いたALS責任遺伝子UBQLN2の機能解析.	窪田 瞬	神経内科・脳卒中医学	50万円	補委	横浜医学財団(平成30年)
Disruption of excitable axonal domains by glucose metabolite methylglyoxal.	Keiichiro Susuki (Principal Investigator)	神経内科・脳卒中医学	27.5万円	補委	NIH, NINDS, R56 NS107398, Total direct costs
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

小計11

計335

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Arakawa K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Takotsubo Cardiomyopathy in a Patient with Previously Undiagnosed Hypertrophic Cardiomyopathy with Latent Obstruction.	Intern Med., 57(20): 2969- 2973, 2018.	Original Article
2	Doi H	循環器・腎臓・高血圧内科学	New non-invasive indexes of arterial stiffness are significantly correlated with severity and complexity of coronary atherosclerosis.	Clin Exp Hypertens.2018 May 8:1-7	Original Article
3	Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Possible interesting link between Janus Kinase 2 mutation and renovascular hypertension.	J Clin Hypertens(Greenwich).2018 Apr;20(4):805-806.	Original Article
4	Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	An interesting cross- talk between the glucagon-like peptide-1 receptor axis and angiotensin receptor pathway for modulation of renal sodium handling in obesity.	Hypertens Res.2018 Oct;41(10):784-786.	Original Article
5	Kamimura D	臨床検査部	Cigarette smoking and incident heart failure: Insights from the Jackson Heart Study.	Circulation, 137:2572-82, 2018	Original Article
6	Kamimura D	臨床検査部	Higher Plasma Leptin Levels are Associated with Reduced Left Ventricular Mass and Left Ventricular Diastolic Stiffness in Black Women: Insights from the Genetic Epidemiology Network of Arteriopathy (GENOA) Study.	Hypertens Res, 41: 629-38, 2018	Original Article

小計6

7	Terasako-Saito K	臨床検査部	Targeting complete response with upfront bortezomib consolidation versus observation after the achievement of complete response following autologous transplantation for multiple myeloma (TUBA study).	Hematological Oncology, 36: 202-209, 2018.	Original Article
8	Kamiya S	臨床検査部	A multi-center prospective study randomizing the use of fat emulsion in intensive glucose control after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation using a myeloablative conditioning regimen.	Clin Nutr, 37(5): 1534-1540, 2018.	Original Article
9	Kessoku T	臨床検査部	Efficacy, safety, and tolerability of lubiprostone for the treatment of non-alcoholic fatty liver disease in adult patients with constipation: The LUBIPRONE, double-blind, randomised, placebo-controlled study design.	Contemp Clin Trials, 69: 40-47, 2018.	Original Article
10	Ogawa Y	臨床検査部	Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2-binding protein and type 4 collagen 7S: useful markers for the diagnosis of significant fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.	J Gastroenterol Hepatol, 33(10): 1795-1803, 2018.	Original Article
11	Imajo K	臨床検査部	A new system for microwave ablation is useful for the treatment of unresectable liver tumors via forming the large and spherical ablation zone.	J Gastroenterol Hepatol, 33(12): 2007-2014, 2018.	Original Article
12	Arakawa K	臨床検査部	Takotsubo Cardiomyopathy in a Patient with Previously Undiagnosed Hypertrophic Cardiomyopathy with Latent Obstruction.	Intern Med, 57(20): 2969-2973, 2018.	Original Article
13	Kishida I	臨床検査部	Effects of four atypical antipsychotics on autonomic nervous system activity in schizophrenia.	Schizophrenia Research, 193: 134-138, 2018.	Original Article

14	Suda A	臨床検査部	Effects of ABCB1 gene polymorphisms on autonomic nervous system activity during atypical antipsychotic treatment in schizophrenia.	BMC psychiatry, 18(1): 231, doi: 10.1186/s12888-018-1817-5, 2018.	Original Article
15	Suda A	臨床検査部	Association between dysfunction of autonomic nervous system activity and mortality in schizophrenia.	Compr Psychiatry, 86: 119-122, 2018.	Original Article
16	Suda A	臨床検査部	Effects of long-acting injectable antipsychotics versus oral antipsychotics on autonomic nervous system activity in schizophrenic patients.	Neuropsychiatr Dis Treat, 14: 2361-2366, 2018.	Original Article
17	Sue S	消化器内科学	Vonoprazan- vs proton-pump inhibitor-based first-line 7-day triple therapy for clarithromycin-susceptible Helicobacter pylori: A multicenter, prospective, randomized trial.	Helicobacter, 23(2):e12456, 2018 .	Original Article
18	Nishigori S	消化器内科学	Fusion imaging with contrast-enhanced ultrasonography for evaluating the early therapeutic efficacy of radiofrequency ablation for small hypervascular hepatocellular carcinomas with iso-echoic or unclear margins on conventional ultrasonography.	J Med Ultrason (2001), 45(3):405-415, 2018.	Original Article
19	Hirasawa K	消化器内科学	Endoscopic excavation technique for gastric gastrointestinal stromal tumor: A case report.	Dig Endosc,30 Suppl 1:33-34, 2018 .	Original Article
20	Shibata W	消化器内科学	Overexpression of HER2 in the pancreas promotes development of intraductal papillary mucinous neoplasms in mice.	Sci Rep, 8(1):6150, 2018.	Original Article

21	Ishii Y	消化器内科学	Activation of Signal Transduction and Activator of Transcription 3 Signaling Contributes to Helicobacter-Associated Gastric Epithelial Proliferation and Inflammation.	Gastroenterol Res Pract,2018:9050715, 2018 .	Original Article
22	Fukuda H	消化器内科学	Comparison of vascularity observed using contrast-enhanced 3D ultrasonography and pathological changes in patients with hepatocellular carcinoma after sorafenib treatment.	J Cancer, 9(13):2408-2414, 2018.	Original Article
23	Nakai Y	消化器内科学	Multicenter study of endoscopic preoperative biliary drainage for malignant hilar biliary obstruction: E-POD hilar study.	J Gastroenterol Hepatol, 33(5):1146-1153, 2018. (3) ↑ Suginori K	Original Article
24	Nishio M	消化器内科学	Short- and long-term efficacy of adalimumab salvage therapy after failure of calcineurin inhibitors in steroid-refractory ulcerative colitis.	Scand J Gastroenterol, 53(10-11):1236-1244, 2018.	Original Article
25	Tezuka S	消化器内科学	Predictive value of ERCC1, ERCC2, ERCC4, and glutathione S-Transferase Pi expression for the efficacy and safety of FOLFIRINOX in patients with unresectable pancreatic cancer.	Am J Cancer Res,8(10):2096-2105, 2018 .	Original Article
26	Sato T	消化器内科学	Adhesion molecules and pancreatitis.	J Gastroenterol.54(2):99-107,2019 Feb	Original Article
27	Hara K	消化器内科学	Radiofrequency Ablation:a Propensity Score Analysis.	Hepatology.69(6):2533-2545,2019 Feb 25	Original Article
28	Arai M	内分泌・糖尿病内科学	Bullous pemphigoid and dipeptidyl peptidase-4 inhibitors: A disproportionality analysis based on the Japanese Adverse Drug Event Report database.	Diabetes Care. 41(9): e130-e132, 2018.	Original Article
29	Inoue H	内分泌・糖尿病内科学	Signaling between pancreatic β -cells and macrophages via S100 calcium-binding protein A8 exacerbates β -cell apoptosis and islet inflammation.	J Biol Chem. 293(16): 5934-5946, 2018.	Original Article

30	Kimura M	内分泌・糖尿病内科学	A Randomized Controlled Trial of a Mini Low-Carbohydrate Diet and an Energy-Controlled Diet Among Japanese Patients with Type 2 Diabetes.	J Clin Med Res. 10(3):182-188, 2018.	Original Article
31	Kimura M	内分泌・糖尿病内科学	A randomized controlled trial of a mini low-carbohydrate diet and an energy-controlled diet among Japanese patients with type 2 diabetes.	J Clin Med Res. 10(3): 182-188, 2018. Correction: J Clin Med Res. 10(6): 531-534, 2018.	Original Article
32	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	SUSTAINable management of type 2 diabetes: feasibility of use and safety of semaglutide.	Ann Transl Med. 6(7):129, 2018.	Original Article
33	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Efficacy and safety of the GPR119 agonist DS-8500a in Japanese type 2 diabetes mellitus patients with inadequate glycemic control on sitagliptin: A phase 2 randomized placebo-controlled study.	J Diabetes Investig. 9(6): 1333-1341, 2018.	Original Article
34	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Long-term safety and efficacy of tofogliflozin add-on to insulin in patients with type 2 diabetes: results from a 52-week, multicenter, randomized, double-blind, open-label extension, Phase 4 study in Japan (J-STEP/INS).	Diabetes Obes Metab. 20(5): 1176-1185, 2018.	Original Article
35	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Glycaemic control, hypoglycaemia, and weight change with insulin glargine 300 U/mL versus insulin glargine 100 U/mL in Japanese adults with type 2 diabetes: a 12-month comparison by concomitant sulphonylurea and/or glinide use.	Diabetes Obes Metab. 20(11): 2541-2550, 2018.	Original Article

36	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Humanistic and economic burden of cardiovascular disease related comorbidities and hypoglycaemia among patients with type 2 diabetes in Japan.	Diabetes Res Clin Pract, 149: 115-125, 2019.	Original Article
37	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Safety and efficacy of empagliflozin as add-on therapy to GLP-1 receptor agonist (liraglutide) in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a randomized double-blind, parallel-group phase 4 study.	Diabetes Therapy 10(3): 951-963, 2019.	Original Article
38	Akimoto T	脳神経外科	Alternating magnetic field enhances cytotoxicity of Compound C.	Cancer Sci, 109:3483-3493,2018.	Original Article
39	Ikegaya N	脳神経外科	Surgical strategy to avoid ischemic complications of the pyramidal tract in resective epilepsy surgery of the insula: a technical case report.	Journal of Neurosurgery, 128:1173-1177, 2018.	Case report
40	Kawasaki T	脳神経外科	Topographic anatomy of the subthalamic nucleus localized by high-resolution human brain atlas superimposing digital images of cross-sectioned surfaces and histological images of microscopic sections from frozen cadaveric brains.	J Clin Neuroscience, 53: 193-202, 2018.	Original Article
41	Manaka H	脳神経外科	Safety and Efficacy of Preoperative Embolization in Patients with Meningioma.	J Neurol Surg B Skull Base, 79(4) :S328-333, 2018.	Original Article
42	Miyake Y	脳神経外科	A Case of Suspicious Gangliocytoma with Heterogeneously Distributed Lesions in the Thalamus and Basal Ganglia.	NMC Case Report Journal,5: 61-64, 2018.	Case report

小計7

43	Ohtake M	脳神経外科	Succinate Dehydrogenase B Subunit-Negative Jugular Foramen Paranglioma Manifesting Malignant Progression with Pseudohypoxia-Related Atypical Uptake of [(18)F]-Fluoro-2-Deoxy-d-Glucose: A Case Report.	World Neurosurg,114:47-52,2018.	Case report
44	Ohtake M	脳神経外科	Succinate dehydrogenase B subunit-negative jugular foramen paraganglioma manifesting malignant progression with pseudohypoxia-related atypical uptake of [18F]-fluoro-2-deoxy-D-glucose: A case report.	World Neurosurgery, 114: 47-52, 2018.	Case report
45	Sato M	脳神経外科	Three-dimensional multimodality fusion imaging as an educational and planning tool for deep-seated meningiomas.	Br J Neurosurg, 26:1-7, 2018.	Original Article
46	Sato M	脳神経外科	Three-dimensional multimodality fusion imaging as an educational and planning tool for deep-seated meningiomas.	Br J Neurosurg,32(5):509-15,2018.	Original Article
47	Shimizu N	脳神経外科	Preoperative Embolization of Cerebellar Hemangioblastomas with a Liquid Embolic Material (NBCA) by the "Plug & Push" Technique.	Journal of Neuroendovascular Therapy, 12(10):475-480, 2018.	Original Article
48	Kaizu H	放射線治療学	Treatment outcomes of (chemo)radiotherapy for oropharyngeal cancers: influence of the use of 15 MV X-rays in radiation boost.	Int J Radiat Res, 16(3): 257-267, 2018.	Original Article

49	Mukai Y	放射線治療学	Acute and late toxicities in localized prostate cancer patients treated with low-dose 125I brachytherapy (110 Gy) in combination with external beam radiation therapy versus brachytherapy alone (160 Gy).	J Contemp Brachytherapy, 10(5): 397-404, 2018.	Original Article
50	Ogino I	放射線治療学	The importance of concurrent chemotherapy for T1 esophageal cancer: role of FDG-PET/CT for local control.	In Vivo, 32(5): 1269-1274, 2018.	Original Article
51	Ogino I	放射線治療学	Calcium phosphate cement paste injection as a fiducial marker of cervical cancer.	In Vivo, 32(6): 1609-1615, 2018.	Original Article
52	Mitsudo K	放射線治療学	Chemoradiotherapy using retrograde superselective intra-arterial infusion for tongue cancer: analysis of therapeutic results in 118 cases.	Oral Oncol, 79: 71-77, 2018.	Original Article
53	Hayashi Y	放射線治療学	Daily cisplatin and weekly docetaxel versus weekly cisplatin intra-arterial chemoradiotherapy for late T2-3 tongue cancer: a pilot and feasibility trial.	Medicina, 54(4): 52, 2018.	Original Article
54	Ishibashi N	放射線治療学	Does protruding type 1 esophageal cancer really have a good response to radiation therapy? - a retrospective observational study.	J Thorac Dis, 10(6): 3512-3518, 2018.	Original Article
55	Ishibashi N	放射線治療学	National survey of myeloablative total body irradiation prior to hematopoietic stem cell transplantation in Japan: survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG)	J Radiat Res, 59(4): 477-483, 2018.	Original Article
56	Hata M	放射線治療学	radiation therapy for elderly patients with uterine servical cancer:feasibility of curative treatment.	Int J Gynecol Cancer,29(3):622-629,2019.	Original Article

57	Oguri S	放射線治療学	Daily concurrent chemoradiotherapy using retrograde superselective intra-arterial infusion for locally advanced squamous cell carcinoma of the mandibular gingiva.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol,30(6):483-487,2019.	Original Article
58	Sakuma K	放射線治療学	Retrograde superselective intra-arterial chemoradiotherapy combined with hyperthermia and cetuximab for carcinoma of the buccal mucosa with N3 lymph node metastasis:a case report.	Oral Radiol,35(1):77-83,2019.	Case report
59	Nozato T	放射線治療学	Thermochemoradiotherapy using superselective intra-arterial infusion for patients with oral cancer with cervical lymph node metastases.	Anticancer Res,39(3):1365-1373,2019.	Original Article
60	Ishibashi N	放射線治療学	Changes in the Ki-67 labeling index between primary breast cancer and metachronous metastatic axillary lymph node:a retrospective observational study.	Thorac Cancer,10(1):96-102,2019.	Original Article
61	Ishibashi N	放射線治療学	Is pectus excavatum a risk factor for radiation-induced lung disease in patients undergoing radiation therapy following breast-conserving surgery?	Thorac Cancer,10(2):203-208,2019.	Original Article
62	Chiba Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Predictive value of the Hyodo score in endoscopic evaluation of aspiration during swallowing.	Auris Nasus Larynx, 45(6): 1214-1220, 2018.	Original Article
63	Kuwahara T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Fibrinogen and Neutrophil-to-lymphocyte Ratio Predicts Survival in Patients with Advanced Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res, 38(9): 5321-5330, 2018.	Original Article

64	Nishimura G	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Efficacy of postoperative bio-chemoradiotherapy using cetuximab and docetaxel in patients with cis-platinum-intolerant core high-risk head and neck cancer: a protocol of a phase II nonrandomized clinical trial.	JMIR Res Protoc, 7(8): e11003, 2018.	Original Article
65	Sano D	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Lymph node ratio as a prognostic factor for survival in patients with head and neck squamous cell carcinoma.	Auris Nasus Larynx, 45(4): 846-853, 2018.	Original Article
66	Inomata N	皮膚科学	Identification of gibberellin-regulated protein as a new allergen in orange allergy.	Clin Exp Allergy, 48(11):1509-1520, 2018.	Original Article
67	Inomata N	皮膚科学	Surfing as a risk factor for sensitization to poly(γ -glutamic acid) in fermented soybeans, natto, allergy.	Allergol Int, 67(3):341-346, 2018.	Original Article
68	Kanaoka M	皮膚科学	Pro-fibrotic Phenotype of Human Skin Fibroblasts Induced by Periostin via Modulating TGF- β Signaling.	J Dermatol Sci, 90(2):199-208, 2018.	Original Article
69	Mukaijo J	皮膚科学	Linagliptin treatment-associated bullous pemphigoid presenting severe mucosal erosions.	J Cutan Immunol Allergy, 1(2):77-78, 2018.	Original Article
70	Mukaijo J	皮膚科学	Allergic contact dermatitis caused by 2-hydroxyethyl acrylate in a moisturizing face pack in a handmade acrylic accessory enthusiast.	Contact Dermatitis, 79(6):383-385, 2018.	Original Article
71	Kage Y	皮膚科学	A case of bullous pemphigoid associated with teneligliptin accompanied by severe mucous membrane involvement.	J Dermatol, 45(7):e205-e206, 2018.	Original Article

72	Takamura N	皮膚科学	Downregulated Caveolin-1 expression in circulating monocytes may contribute to the pathogenesis of psoriasis.	Sci Rep,9(1):125,2019.	Original Article
73	Iwata JI	皮膚科学	Contact dermatitis with concomitant urticarial syndrome due to multiple ingredients of oxidative hair dye.	Allergol Int,68(1):114-116,2019.	Original Article
74	Togashi Y	皮膚科学	Pediatric case with rice brain allergy induced by epicutaneous sensitization in a family rice shop.	Allergol Int,68:117-118,2019.	Original Article
75	Satake T	形成外科学	Polyurethane Foam Wound Dressing Technique for Areola Skin Graft Stabilization and Nipple Protection After Nipple-Areola Reconstruction.	Aesthetic Plast Surg. 42(2):442-446, 2018.	Original Article
76	Horie Y	形成外科学	Reduced skin lipid content in obese Japanese women mediated by decreased expression of rate-limiting lipogenic enzymes.	PLoS One. 13(3):e0193830, 2018.	Original Article
77	Satake T	形成外科学	Bilateral breast reconstruction and pectus excavatum correction: a case and review of the literature.	Eur J Plast Surg, https://doi.org/10.1007/s00238-018-1449-5 [Epub ahead of print] 2018.	Original Article
78	Satake T	形成外科学	Endoscopic Nipple-sparing Mastectomy with Immediate Multi-Stage Fat Grafting for Total Breast Reconstruction: A New Combination for Minimal Scar Breast Cancer Surgery.	Plast Reconstr Surg, 142(5):816e-818e, 2018.	Original Article
79	Homma Y	形成外科学	Salvage mastectomy for local recurrence and second ipsilateral autologous breast reconstruction using a perforator flap from a different donor site.	Case Reports Plast Surg Hand Surg. 5(1):54-58. doi: 10.1080/23320885.2018.1515020. eCollection 2018.	Case report

80	Kunimoto H	血液・免疫・感染症内科学	Cooperative epigenetic remodeling by TET2 loss and NRAS mutation drives myeloid transformation and MEK inhibitor sensitivity.	Cancer Cell, 33:44-59, 2018.	Original Article
81	Matsumoto K	血液・免疫・感染症内科学	Anemia Associated with Worse Outcome in Diffuse Large B-Cell Lymphoma Patients: A Single-Center Retrospective Study.	Turk J Haematol, 35(3): 181-184, 2018.	Original Article
82	Hidekawa C	血液・免疫・感染症内科学	Successful treatment of extensive venous thrombosis with combination of immunosuppressants and a direct Xa inhibitor in Behçet's disease.	Mod Rheumatol Case Reports. 2(2):204-208, 2018.	Case report
83	Kamiyama R	血液・免疫・感染症内科学	Dysfunction of TRIM21 in interferon signature of systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol, 2018, e-pub.	Original Article
84	Kirino Y	血液・免疫・感染症内科学	Beneficial use of serum ferritin and heme oxygenase 1 as biomarkers in adult-onset Still's disease: a multicenter retrospective study.	Mod Rheumatol, 2018, e-pub.	Original Article
85	Kishimoto D	血液・免疫・感染症内科学	Dysregulated heme oxygenase-1-low M2-like macrophages augment lupus nephritis via Bach1 induced by type-I interferons.	Arthritis Res Ther, 2018, 20(1):64.	Original Article
86	Tsuchida N	血液・免疫・感染症内科学	Novel biallelic SZT2 mutations in 3 cases of early-onset epileptic encephalopathy.	Clin Genet. 93(2):266-274. 2018.	Original Article
87	Tsuchida N	血液・免疫・感染症内科学	Detection of copy number variations in epilepsy using exome data.	Clin Genet. 93(3):577-587. 2018.	Original Article
88	Tsuchida N	血液・免疫・感染症内科学	GRIN2D variants in three cases of developmental and epileptic encephalopathy.	Clin Genet. 94(6):538-547. 2018.	Original Article

89	Kato H	血液・免疫・感染症内科学	Prevalence of, and risk factors for, hematogenous fungal endophthalmitis in patients with Candida bloodstream infection.	Infection 46(5):635-40, 2018.	Original Article
90	Kato H	血液・免疫・感染症内科学	Japan Adult Leukemia Study Group. Infectious complications in adults undergoing intensive chemotherapy for acute myeloid leukemia in 2001-2005 using the Japan Adult Leukemia Study Group AML201 protocols.	Support Care Cancer. 26(12):4187-4198, 2018.	Original Article
91	Murohashi K	呼吸器病学	Clinical Significance of Serum Hemeoxygenase-1 as a New Biomarker for the Patients with Interstitial Pneumonia.	Can Respir J, 2018: 7260178, 2018.	Original Article
92	Nakashima K	呼吸器病学	Regulatory role of heme oxygenase-1 in silica-induced lung injury.	Respir Res, 19: 144, 2018.	Original Article
93	Watanabe K	呼吸器病学	Bronchial wash culture is less valuable in patients suspected to have nontuberculous mycobacteria lung disease for bilateral bronchiectasis with nodules.	Int J Mycobacteriol, 7: 178-182, 2018.	Original Article
94	Hara Y	呼吸器病学	ELISA Development for Serum Hemeoxygenase-1 and Its Application to Patients with Acute Respiratory Distress Syndrome.	Can Respir J, 2018: 9627420, 2018.	Original Article
95	Nakashima K	呼吸器病学	A case of adenocarcinoma of the lung with EGFR T790 mutation presenting with chylous ascites.	J Thorac Oncol, 13: 1227-1228, 2018.	Original Article
96	Akamatsu Y	整形外科科学	Effect of increased coronal inclination of the tibial plateau after opening-wedge high tibial osteotomy.	Arthroscopy, 34:2158-2169, 2018.	Original Article
97	Akamatsu Y	整形外科科学	Should sagittal osteotomy line be parallel to tibial posterior slope in high tibial osteotomy?.	BMC Musculoskeletal Disorders, 19(1):338, 2018.	Original Article

98	Ike H	整形外科科学	Spine-Pelvis-Hip Relationship in the Functioning of a Total Hip Replacement.	J Bone Joint Surg Am, 100(18): 1606-1615, 2018.	Original Article
99	Imai S	整形外科科学	Platelet-Rich Plasma Promotes Migration, Proliferation, and the Gene Expression of Scleraxis and Vascular Endothelial Growth Factor in Paratenon-Derived Cells In Vitro.	Sports Health, 11(2):142-148, 2019.	Original Article
100	Kobayashi N	整形外科科学	Computer-assisted hip arthroscopic surgery for femoroacetabular impingement.	Arthrosc Tech, 7(4):397-403, 2018.	Original Article
101	Kobayashi N	整形外科科学	Computer-assisted hip arthroscopic surgery for femoroacetabular impingement. Technical notes.	Arthrosc Tech, 7(4):397-403. 2018.	Original Article
102	Kumagai K	整形外科科学	Osteochondral Autograft Transplantation Versus Bone Marrow Stimulation Technique as a Concomitant Procedure With Opening-Wedge High Tibial Osteotomy for Spontaneous Osteonecrosis of the Medial Femoral Condyle.	Arthroscopy, 34:233-240, 2018.	Original Article
103	Kumagai K	整形外科科学	Effects of once-monthly minodronate versus risedronate in osteoporosis patients with rheumatoid arthritis: a 12-month randomized head-to-head comparison.	Osteoporos Int, 29(7):1637-1642, 2018.	Original Article
104	Oba M	整形外科科学	Mechanical Strength of the Proximal Femur After Arthroscopic Osteochondroplasty for Femoroacetabular Impingement: Finite Element Analysis and 3-Dimensional Image Analysis.	Arthroscopy, 34(8):2377-2386, 2018.	Original Article
105	Oba T	整形外科科学	New scoring system at admission to predict walking ability at discharge for patients with hip fracture.	Orthop Traumatol Surg Res, 104(8):1189-1192, 2018.	Original Article

106	Oba T	整形外科科学	Risk factors for prolonged operative time in femoral neck fracture patients undergoing hemiarthroplasty through direct anterior approach.	J Orthop Sci, 23(6):977-981, 2018.	Original Article
107	Oishi T	整形外科科学	The Relationship Between the Location of Uptake on Positron Emission Tomography/Computed Tomography and the Impingement Point by Computer Simulation in Femoroacetabular Impingement Syndrome With Cam Morphology.	Arthroscopy, 34(4):1253-1261, 2018.	Original Article
108	Tezuka T	整形外科科学	Functional Safe Zone Is Superior to the Lewinnek Safe Zone for Total Hip Arthroplasty: Why the Lewinnek Safe Zone Is Not Always Predictive of Stability.	J Arthroplasty. 34(1):3-8, 2019.	Original Article
109	Tezuka T	整形外科科学	The influence of patient factors on femoral rotation after total hip arthroplasty.	BMC Musculoskelet Disord, 19(1):189, 2018.	Original Article
110	Uesugi Y	整形外科科学	Quality of life of patients with osteonecrosis of the femoral head: a multicenter study.	Int Orthop, 42(7):1517-1525, 2018.	Original Article
111	Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Determining an optimal clinical dose of elobixibat, a novel inhibitor of the ileal bile acid transporter, in Japanese patients with chronic constipation: a phase II, multicenter, double-blind, placebo-controlled randomized clinical trial.	J Gastroenterol, 53(4):525-534, 2018.	Original Article
112	Kessoku T	肝胆膵消化器病学	Efficacy, safety, and tolerability of lubiprostone for the treatment of non-alcoholic fatty liver disease in adult patients with constipation: The LUBIPRONE, double-blind, randomised, placebo-controlled study design.	Contemp Clin Trials, 69:40-47, 2018.	Original Article

113	Ogawa Y	肝胆胰消化器病学	Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein and type 4 collagen 7S are useful markers for the diagnosis of significant fibrosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease.	J Gastroenterol Hepatol, 33(10):1795-1803, 2018.	Original Article
114	Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Safety and efficacy of elobixibat for chronic constipation: results from a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial and an open-label, single-arm, phase 3 trial.	Lancet Gastroenterol Hepatol, 3(8):537-547, 2018.	Original Article
115	Imajo K	肝胆胰消化器病学	New microwave ablation system for unresectable liver tumors that forms large, spherical ablation zones.	J Gastroenterol Hepatol, 33(12): 2007-2014, 2018.	Original Article
116	Komiya Y	肝胆胰消化器病学	Patients with colorectal cancer have identical strains of Fusobacterium nucleatum in their colorectal cancer and oral cavity.	Gut, pii: gutjnl-2018-316661, 2018.	Original Article
117	Yoneda M	肝胆胰消化器病学	Non-Invasive Diagnosis of Nonalcoholic Fatty Liver Disease.	Am J Gastroenterol, 1409-1411,2018.	Original Article
118	Ogawa Y	肝胆胰消化器病学	Palmitate-induced lipotoxicity is crucial for the pathogenesis of nonalcoholic fatty liver disease in cooperation with gut-derived endotoxin.	Sci Rep, 8(1):11365, 2018.	Original Article
119	Higurashi T	肝胆胰消化器病学	The Efficacy of the Kampo Formula Keishikashakuyakuto for Irritable Bowel Syndrome: A Phase 3, Multicenter, Double-Blind, Placebo-Controlled, Randomized Controlled Trial.	J Clin Trials, 8(2):345, 2018.	Original Article
120	Kawashima K	肝胆胰消化器病学	Type I interferon signaling prevents hepatitis B virus-specific T cell responses by reducing antigen expression.	J Virol, 92(23). pii: e01099-18, 2018.	Original Article

121	Yoneda M	肝胆膵消化器病学	Will the magnetic resonance imaging proton density fat fraction replace liver biopsy as the gold standard for detecting steatosis?.	Hepatobiliary Surg Nutr, 7(4):292-293, 2018.	Original Article
122	Higurashi T	肝胆膵消化器病学	Metformin and Colorectal Cancer.	Front Endocrinol (Lausanne), 9:622, 2018.	Original Article
123	Ogawa Y	肝胆膵消化器病学	Present and emerging pharmacotherapies for non-alcoholic steatohepatitis in adults.	Expert Opin Pharmacother, 9:1-14, 2018.	Original Article
124	Kurita Y	肝胆膵消化器病学	Sarcopenia is a reliable prognostic factor in patients with advanced pancreatic cancer receiving FOLFIRINOX chemotherapy.	Pancreatology, 19(1):127-135, 2018.	Original Article
125	Kato S	肝胆膵消化器病学	Possible Therapeutic Application of Targeting Type II Natural Killer T Cell-Mediated Suppression of Tumor Immunity.	Front Immunol, 9: 314, 2018.	Original Article
126	Kubota K	肝胆膵消化器病学	Clinical course of type 1 autoimmune pancreatitis patients without steroid treatment: a Japanese multicenter study of 97 patients.	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 25(4):223-230, 2018.	Original Article
127	Kurita Y	がん総合医科学	Sarcopenia is a reliable prognostic factor in patients with advanced pancreatic cancer receiving FOLFIRINOX chemotherapy.	Pancreatology. 2019 Jan;19(1):127-135	Original Article
128	Kato S	がん総合医科学	Multicenter experience with large panel next-generation sequencing in patients with advanced solid cancers in Japan.	Jpn J Clin Oncol. 2019 Feb 1;49(2):174-182	Original Article
129	Masuda M	外科治療学	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2015 Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 66:581-615,2018.	Case report
130	Goda M	外科治療学	Differences of patients' characteristics in acute type A aortic dissection - surgical data from Belgian and Japanese centers.	Journal of Cardiothoracic Surgery, 13(1):92, 2018.	Original Article

131	Rino Y	外科治療学	Our connection procedure for an EEA XL stapler and anvil head using EEA OrVil for laparoscopic total or proximal gastrectomy.	Asian Journal of Endoscopic Surgery, 11(3):280-283, 2018.	Original Article
132	Rino Y	外科治療学	Per oral vitamin B12 replacement therapy after gastrectomy and its optimal dose; retrospective study.	Journal of Clinical Research and Medicine, 1(4):1-4, 2018.	Original Article
133	Tamagawa H	外科治療学	Relationship of the tight junction protein claudin-4 gene to outcomes in patients with colorectal cancer.	Annals of Cancer Research and Therapy. 26(2):82-88, 2018.	Original Article
134	Tamagawa H	外科治療学	Preoperative evaluation of skeletal muscle mass in the risk assessment for the short-term outcome of elderly colorectal cancer patients undergoing colectomy.	Molecular and Clinical Oncology, 8(6):779-784, 2018.	Original Article
135	Aoyama T	外科治療学	A Comparison of the Body Composition Changes Between Laparoscopy-assisted and Open Total Gastrectomy for Gastric Cancer.	In Vivo, 32(6):1513-1518, 2018.	Original Article
136	Aoyama T	外科治療学	Safety and feasibility of enhanced recovery after surgery in the patients underwent distal pancreatectomy for pancreatic cancer.	Journal of Cancer Research and Therapeutics, 14(Supplement):S724-S729, 2018.	Original Article
137	Aoyama T	外科治療学	Survival and the prognosticators of peritoneal cytology-positive pancreatic cancer patients undergoing curative resection followed by adjuvant chemotherapy.	Journal of Cancer Research and Therapeutics, 14(Supplement):S1129-1134, 2018.	Original Article
138	Aoyama T	外科治療学	The Lymph Node Ratio Is an Independent Prognostic Factor in Pancreatic Cancer Patients Who Receive Curative Resection Followed by Adjuvant Chemotherapy.	Anticancer Research, 38(8):4877-4882, 2018.	Original Article

139	Aoyama T	外科治療学	Identification of a high-risk subtype of intestinal-type Japanese gastric cancer by quantitative measurement of the luminal tumor proportion.	Cancer Medicine, 7(10):4914-4923, 2018.	Original Article
140	Numata M	外科治療学	Safety and feasibility of laparoscopic reoperation for treatment of anastomotic leakage after laparoscopic colorectal cancer surgery.	Asian Journal of Endoscopic Surgery, 11(3):227-232, 2018.	Original Article
141	Sawazaki S	外科治療学	Safety of Laparoscopic Surgery for Colorectal Cancer in Patients with Severe Comorbidities.	Anticancer Research, 38(6): 3767-3772, 2018.	Original Article
142	Maezawa Y	外科治療学	Priority of lymph node dissection for proximal gastric cancer invading the greater curvature.	Gastric Cancer, 21(3):569-572, 2018.	Original Article
143	Isaka T	外科治療学	Impact of the epidermal growth factor receptor mutation status on the prognosis of recurrent adenocarcinoma of the lung after curative surgery.	BMC Cancer, 18(1):959, 2018.	Original Article
144	Tamagawa H	外科治療学	Therapeutic results of Denver percutaneous peritoneovenous shunt in cancer patients with malignant ascites.	Journal of Cancer Research and Therapeutics, DOI: 10.4103/jcrt.JCRT_606_18, 2019. Jan	Original Article
145	Aoyama T	外科治療学	Influence of Postoperative Surgical Complications After Gastrectomy on Body Weight and Body Composition Changes in Patients With Gastric Cancer.	Anticancer Research, 39(2):1073-1078, 2019.Feb	Original Article
146	Aoyama T	外科治療学	The postoperative lean body mass loss at one month leads to a poor survival in patients with locally advanced gastric cancer.	Journal of Cancer, 10(11):2450-2456, 2019. May.	Original Article
147	Maezawa Y	外科治療学	The impact of infectious complications on long-term prognosis after curative resection for gastric cancer.	Journal of Clinical Oncology, 4(1):122, 2019. Feb	Original Article

148	Matsuyama R	消化器・腫瘍外科学	Our Rationale of Initiating Neoadjuvant Chemotherapy for Hilar Cholangiocarcinoma: A Proposal of Criteria for "Borderline Resectable" in the Field of Surgery for Hilar Cholangiocarcinoma.	World Journal of Surgery, 43(4):1094-1104,2018.	Original Article
149	Homma Y	消化器・腫瘍外科学	Salvage mastectomy for local recurrence and second ipsilateral autologous breast reconstruction using a perforator flap from a different donor site.	Case Reports Plast Surg Hand Surg, 5(1):54-58,2018.	Case report
150	Suzuki S	消化器・腫瘍外科学	Laparoscopic right hemicolectomy for a colon cancer patient with an ileal conduit.	Asian J Endosc Surg,12(1):114-117,2018.	Original Article
151	Suwa Y	消化器・腫瘍外科学	Randomized phase II trial of the prophylactic use of celecoxib for the prevention of oxaliplatin-related peripheral vascular pain in Capeox (YCOG1205).	Cancer Chemother Pharmacol,83(3):419-424,2019.	Original Article
152	Tuchiya N	消化器・腫瘍外科学	Feasibility of Laparoscopy-assisted Gastrectomy for Gastric Cancer in Elderly Patients: A Case-Control Study.	Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques, 28(2):102-107, 2018.	Case report
153	Onishi H	消化器・腫瘍外科学	A genome-wide association study identifies three novel genetic markers for response to tamoxifen: A prospective multicenter study.	PLoS One, 13(8):e0201606,2018.	Original Article
154	Oshi M	消化器・腫瘍外科学	Higher tumor burden neutralizes negative margin status in hepatectomy for colorectal cancer liver metastasis.	Ann Surg Oncol, 26(2):593-603,2019.	Original Article

155	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Patient-derived orthotopic xenograft models for cancer of unknown primary precisely distinguish chemotherapy, and tumor-targeting S. typhimurium A1-R is superior to first-line chemotherapy.	Signal Transduction and Targeted Therapy, 3:12. doi: 10.1038/s41392-018-0016-7,2018.	Original Article
156	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Regorafenib regresses an imatinib-resistant recurrent gastrointestinal stromal tumor (GIST) with a mutation in exons 11 and 17 of c-kit in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model.	CELL CYCLE,17(6):722-727,2018.	Original Article
157	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R suppressed an imatinib-resistant gastrointestinal stromal tumor with c-kit exon 11 and 17 mutations.	Heliyon, 4(6)Article e00643,2018.	Original Article
158	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R overcomes partial carboplatinum-resistance of a cancer of unknown primary (CUP).	Tissue and Cell,54:144-149,2018.	Original Article
159	Kosaka T	消化器・腫瘍外科学	Outcomes of preoperative S-1 and docetaxel combination chemotherapy in patients with locally advanced gastric cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology, 83(6): 1047-1055, 2019.	Original Article
160	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Combining Tumor-Selective Bacterial Therapy with Salmonella typhimurium A1-R and Cancer Metabolism Targeting with Oral Recombinant Methioninase Regressed an Ewing's Sarcoma in	Chemotherapy, 63(5): 278-283, 2018.	Original Article
161	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Regorafenib regressed a doxorubicin-resistant Ewing's sarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model.	Cancer Chemother Pharmacol, 83(5): 809-815, 2019.	Original Article

162	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Gemcitabine combined with docetaxel precisely regressed a recurrent leiomyosarcoma peritoneal metastasis in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model.	Biochemical and Biophysical Research Communications, 509(4): 1041-1046, 2019.	Original Article
163	Miyamoto Y	麻酔科学	Intraoperative Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation During Thoracic Surgery That Requires 1-Lung Ventilation: A Case Report.	A A Pract, 10: 79-82, 2018.	Case report
164	Asakura A	麻酔科学	Does fentanyl or remifentanyl provide better postoperative recovery after laparoscopic surgery? a randomized controlled trial.	BMC Anesthesiol, 18: 81, 2018.	Original Article
165	Tojo K	麻酔科学	Driving-pressure-independent protective effects of open lung approach against experimental acute respiratory distress syndrome.	Crit Care, 22: 228, 2018.	Original Article
166	Tojo K	麻酔科学	Enhancement of glycolysis by inhibition of oxygen-sensing prolyl hydroxylases protects alveolar epithelial cells from acute lung injury.	FASEB J. 2018 Jan 5:fj201700888R.	Original Article
167	Iwasawa Y	麻酔科学	Severe Community-acquired Pneumonia Caused by Acinetobacter baumannii Successfully Treated with the Initial Administration of Meropenem Based on the Sputum Gram Staining Findings: A Case Report.	Intern Med. 2018 Sep 12. doi: 10.2169/internalmedicine.0787-18.	Case report
168	Nishida T	麻酔科学	Predictors for incidence of increased time spent in hospital after ambulatory surgery in children: a retrospective cohort study.	J Anesth, 32: 98-103, 2018.	Original Article

169	Yamamoto N	麻醉科学	Predictors of severe postoperative hyperglycemia after cardiac surgery in infants: a single-center, retrospective, observational study.	J Anesth, 32: 160-166, 2018.	Original Article
170	Tsukinaga A	麻醉科学	Relationship between fresh frozen plasma to packed red blood cell transfusion ratio and mortality in cardiovascular surgery.	J Anesth, 32: 539-546, 2018.	Original Article
171	Sugawara Y	麻醉科学	Comparison between High- and Low-Cost Transmission of Tele-Anesthesia in Japan.	J Healthc Eng. 2018 Jun 11;2018:9615264. doi: 10.1155/2018/9615264. eCollection 2018.	Original Article
172	Motomura Y	麻醉科学	Anesthetic management of a Rett syndrome patient with apnea and epilepsy: a case report.	JA Clinical Reports, 4:27, 2018.	Case report
173	Fujimoto H	麻醉科学	Efficacy of continuous versus intermittent subglottic secretion drainage in preventing ventilator-associated pneumonia in patients requiring mechanical ventilation: A single-center randomized controlled trial.	Oncotarget, 9: 15876-15882, 2018.	Original Article
174	Kawakami H	麻醉科学	Effect of magnesium added to local anesthetics for caudal anesthesia on postoperative pain in pediatric surgical patients: A systematic review and meta-analysis with Trial Sequential Analysis.	PLoS One. 2018 Jan 2; 13(1):e0190354. doi: 10.1371/journal.pone.0190354.	Original Article
175	Nakamura N	麻醉科学	Unilateral electrical stimulation of the heart 7 acupuncture point to prevent emergence agitation in children: A prospective, double-blinded, randomized clinical trial.	PLoS One, 2018 Oct 10; 13(10):e0204533. doi: 10.1371/journal.pone.0204533.	Original Article
176	Oi Y	救急医学	Association between venous blood lactate levels and differences in quantitative capillary refill time.	Acute Med Surg. 2018; 5(4): 321-328.	Original Article

177	Takahashi K	救急医学	Creating a new index to evaluate imbalance in medical demand and supply when disasters occur.	Acute Med Surg. 2018; 5(4): 329-336.	Original Article
178	Toida C	救急医学	Preparedness for rapid veno-venous extracorporeal membrane oxygenation introduction for pediatric severe acute respiratory distress syndrome: a case report. Acute Med Surg.	2018 Aug 12;5(4):390-394.	Case report
179	Toida C	救急医学	The Imbalance in Medical Demand and Supply for Pediatric Victims in an Earthquake.	Disaster Med Public Health Prep. 2018; 1-5. doi: 10.1017/dmp.2018.127.	Original Article
180	Minami S	救急医学	Peripartum Cardiomyopathy with Respiratory Failure and Cardiac Arrest.	Case Rep Acute Med 2018;1:11-16.	Case report
181	Kaku N	救急医学	Medical equipment deployment in pediatric emergency prehospital medical units in Japan.	Pediatrics International. 2018; 60: 93-95.	Original Article
182	Maruhashi T	救急医学	A case of intestinal obstruction due to inflammatory changes in the small intestine from alkaline ingestion.	Acute Medicine & Surgery 2018; 5: 285-288.	Original Article
183	Asano R	産婦人科学	Massive Subcutaneous Emphysema Extending to the Face during Total Laparoscopic Hysterectomy.	J Minim Invasive Gynecol, S1553-4650(18): 30451-30455, 2018.	Original Article
184	Imai Y	産婦人科学	Expression of multiple immune checkpoint molecules on T cells in malignant ascites from epithelial ovarian carcinoma.	Oncol Lett, 15(5): 6457-6468, 2018.	Original Article
185	Suzuki Y	産婦人科学	The demand for home medical care will continue to increase in the next decades: An analysis from the Yokohama Original Medical Data Base (YoMDB).	Geriatr Gerontol Int, 18(11): 1578-1579, 2018.	Original Article

186	Suzuki Y	産婦人科学	Laparoscopic repair of the vaginal cuff dehiscence: Dehiscence occurring after the first sexual intercourse after the laparoscopic modified radical hysterectomy.	Clin Case Rep, 6(12): 2495–2497, 2018.	Case report
187	Asano R	産婦人科学	Expression of erythropoietin messenger ribonucleic acid in wild-type MED12 uterine leiomyomas under estrogenic influence: new insights into related growth disparities.	Fertil Steril, 111(1): 178–185, DOI: 10.1016/j.fertnstert.2018.09.014., 2019. IF:4.803	Original Article
188	Ishidera Y	産婦人科学	Analysis of uterine corporeal mesenchymal tumors occurring after menopause.	BMC Womens Health, 19(1): 13, 2019.	Original Article
189	Wada-Shimosato Y	小児科学	Intraventricular Rituximab in Pediatric CD20-Positive Refractory Primary Central Nervous System Lymphoma.	Journal of Pediatric Hematology and Oncology, Aug 17, 2018. [Epub ahead of print]	Original Article
190	Kemmotsu T	小児科学	Antenatal administration of betamethasone contributes to intimal thickening of the rat ductus arteriosus.	Circulation Journal, 83(3): Page654–661, 2019	Original Article
191	Nakaigawa N	泌尿器科学	FDG PET/CT after first molecular targeted therapy predicts survival of patients with renal cell carcinoma.Cancer	Chemother Pharmacol,81(4):739–744,2018.	Original Article
192	Ohtake S	泌尿器科学	Oxidative stress marker 8-hydroxyguanosine is more highly expressed in prostate cancer than in benign prostatic hyperplasia.	Mol Clin Oncol,9(3):302–304,2018.	Original Article
193	Ohtake S	泌尿器科学	Renal Cell Carcinoma in a Horseshoe Kidney Treated with Laparoscopic Partial Nephrectomy.	Case Rep Oncol Med,2018:7135180,2018.	Case report
194	Yamanaka H	泌尿器科学	A monolayer microfluidic device supporting mouse spermatogenesis with improved visibility.	Biochem Biophys Res Commun,500(4):885–891,2018.	Original Article

195	清水俊輝	眼科学	Short Axial Length and Iris Damage is Associated with Iris Posterior Synechiae after Descemet's Membrane Endothelial Keratoplasty in Asian Eyes.	Cornea 2018年12月	Original Article
196	大野智子	眼科学	Sarcoid uveitis in a patient with multiple neurological lesions: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep 2018年10月	Case report
197	大野智子	眼科学	Association Study of ARMC9 Gene Variants with Vogt-Koyanagi-Harada Disease in Japanese Patients.	Ocul Immunol Inflamm.2018年11月	Original Article
198	竹内正樹	眼科学	Real-world evidence of treatment for relapse of noninfectious uveitis in tertiary centers in Japan: A multicenter study.	Medicine (Baltimore) 2019年3月	Original Article
199	Baba J	口腔外科学	Atypical Protein Kinase C λ/ι Expression Is Associated with Malignancy of Oral Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 38(11), 6291-6297, 2018.	Original Article
200	Iwai T	口腔外科学	Ultrasound-guided extraoral removal of extraparenchymal sialoliths caused by acute parotitis.	J Clin Diagn Res 13(1),2019. ZD17-ZD18	Original Article
201	Hayashi Y	口腔外科学	Weekly cisplatin and weekly docetaxel versus weekly cisplatin intra-arterial chemoradiotherapy for late T2-3 tongue cancer: a pilot and feasibility trial.	Medicina 54(4): 52, 2018.	Original Article
202	Hirota M	口腔外科学	Effect of photofunctionalization on early implant failure.	Int J Oral Maxillofac Implants 33(5): 1098-1102, 2018.	Original Article
203	Honda K	口腔外科学	Orthognathic surgery and implant-supported bridge in a Class III patient injured in a motor vehicle accident.	J Craniofac Surg 29(3): e296-e298, 2018.	Original Article
204	Iwai T	口腔外科学	Sialendoscopic removal of fish bone-induced sialoliths in the duct of the submandibular gland.	Auris Nasus Larynx 45(2): 343-345, 2018.	Original Article

205	Mitsudo K	口腔外科学	Chemoradiotherapy using retrograde superselective intra-arterial infusion for tongue cancer:	analysis of therapeutic results in 118 cases. Oral Oncol 79: 71-77, 2018.	Original Article
206	Oguri S	口腔外科学	Daily concurrent chemoradiotherapy using retrograde superselective intra-arterial infusion for locally advanced squamous cell carcinoma of the mandibular gingiva.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 30(6): 483-487, 2018.	Original Article
207	Ohashi N	口腔外科学	Swallowing function in advanced tongue cancer patients before and after bilateral neck dissection following superselective intra-arterial chemoradiotherapy for organ preservation: a case-control study.	Oral Radiol. 2018 Aug 20. doi: 10.1007/s11282-018-0341-0.	Case report
208	Sugiyama S	口腔外科学	Airway obstruction caused by pharyngolaryngeal swelling after intraoral removal of a submandibular gland stone.	Ther Clin Risk Manag 14:2323-2325, 2018.	Original Article
209	Odawara T	精神医学	A survey of doctors on diagnosis and treatment of dementia with Lewy bodies-examination and treatment of behavioural and psychological symptoms-	Psychogeriatrics 2019 Feb 5 DOI:10.1111/psyg.12399	Original Article
210	Manabe Y	精神医学	Fact-finding survey on diagnostic procedures and therapeutic interventions for parkinsonism accompanying dementia with Lewy bodies.	Psychogeriatrics 2019 Feb19. doi: 10.1111/psyg.12408.	Original Article
211	Abe K	精神医学	A case of treatable dementia with Lewy bodies remarkably improved by immunotherapy.	Journal of Neuroimmunology, 330: 35-37, 2019.	Original Article

212	Ramos-Miguel A	精神医学	The SNAP25 Interactome in Ventromedial Caudate in Schizophrenia Includes the Mitochondrial Protein ARF1.	Neuroscience. S0306-4522(18)30871-30876. 2019.	Original Article
213	Shiozaki K	精神医学	Anti-epileptic drugs improved serial 7s scores on the Mini-Mental State Examination in elderly with cognitive impairment and epileptiform discharge on electroencephalography	Psychogeriatrics, 19: 38-45, 2019.	Original Article
214	Asami T	精神医学	Thalamic shape and volume abnormalities in female patients with panic disorder.	PLoS One,13(12):e0208152, 2018.	Original Article
215	Asami T	精神医学	Smaller volumes in the lateral and basal nuclei of the amygdala in patients with panic disorder.	PLoS One. 13(11): e0207163, 2018.	Original Article
216	Watanabe K	精神医学	Label-free and spectral-analysis-free detection of neuropsychiatric disease biomarkers using an ion-sensitive GaInAsP nanolaser biosensor.	Biosens Bioelectron, 117:161-167, 2018.	Original Article
217	Suda A	精神医学	Effects of long-acting injectable antipsychotics versus oral antipsychotics on autonomic nervous system activity in schizophrenic patients.	Neuropsychiatr Dis Treat, 17(11): 2361-2366, 2018.	Original Article
218	Hattori S	精神医学	Association between dysfunction of autonomic nervous system activity and mortality in schizophrenia.	Compr Psychiatry, 86: 119-122, 2018.	Original Article
219	Asami T	精神医学	Cortical thickness reductions in the middle frontal cortex in patients with panic disorder.	J Affect Disord, 240: 199-202, 2018.	Original Article
220	Konishi J	精神医学	Abnormal relationships between local and global brain measures in subjects at clinical high risk for psychosis: a pilot study.	Brain Imaging Behav, 12(4): 974-988, 2018.	Original Article

221	Ohtani T	精神医学	Progressive symptom-associated prefrontal volume loss occurs in first-episode schizophrenia but not in affective psychosis.	Brain Struct Funct, 223(6):2879-2892, 2018.	Original Article
222	Murata M	精神医学	Adjunct zonisamide to levodopa for DLB parkinsonism: A randomized, double-blind phase 2 study.	Neurology, 90(8): e664-e672, 2018.	Original Article
223	Hattori S	精神医学	Associations of ABCB1 gene polymorphisms with aripiprazole-induced autonomic nervous system dysfunction in schizophrenia.	Schizophr Res, pii: S0920-9964, (17), 30716-8, 2017.	Original Article
224	Masaki Shiraishi	精神医学	Psychiatric Consultations at an Emergency Department in a Metropolitan University Hospital in Northern Japan.	Psychiatry Investigation, 15(7):739-742, 2018.	Original Article
225	Takenoshita S	精神医学	An overview of hypocretin based therapy in narcolepsy.	Expert Opin Investig Drugs, 27(4):389-406, 2018.	Original Article
226	Chiba Y	精神医学	The cingulate island sign in patients with dementia with Lewy bodies or Alzheimer's disease: A direct comparison between 18F-FDG PET and 123I-IMP SPECT.	Neurosci Lett. 14:168-173, 2018.	Original Article
227	Watanabe K	精神医学	Label-free and spectral-analysis-free detection of neuropsychiatric disease biomarkers using an ion-sensitive GaInAsP nanolaser biosensor.	Biosens Bioelectron. 15:161-167, 2018.	Original Article
228	Okabe T	放射線診断学	MR imaging findings in some rare neurological complications of paediatric cancer.	Insights Imaging, 9(3):313-324, 2018.	Original Article
229	Miyatake S	遺伝子診療科	Recurrent SCN3A p.Ile875Thr variant in patients with polymicrogyria.	Ann Neurol, 84(1):159-161, 2018.	Letter
230	Miyatake S	遺伝子診療科	Biallelic COLGALT1 variants are associated with cerebral small vessel disease.	Ann Neurol, 84(6):843-853, 2018.	Original Article

231	Doi H	遺伝子診療科	Cerebellar ataxia–dominant phenotype in patients with ERCC4 mutations.	J Hum Genet, 63(4):417–423, 2018.	Original Article
232	Fujita A	遺伝子診療科	Homozygous splicing mutation in NUP133 causes Galloway–Mowat syndrome.	Ann Neurol, 84(6):814–828, 2018.	Original Article
233	Fukuda H	遺伝子診療科	A novel missense SNAP25b mutation in two affected siblings from an Israeli family showing seizures and cerebellar ataxia.	J Hum Genet, 63(5):673–676, 2018.	Others
234	Hamanaka K	遺伝子診療科	Confirmation of SLC5A7-related distal hereditary motor neuropathy 7 in a family outside Wales.	Clin Genet, 94(2):274–275, 2018.	Letter
235	Hamanaka K	遺伝子診療科	Expanding the phenotype of IBA57 mutations: related leukodystrophy can remain asymptomatic.	J Hum Genet, 63(12):1223–1229, 2018.	Original Article
236	J Hum Genet, 63(12):1223–1229, 2018.	遺伝子診療科	PRUNE1-related disorder: Expanding the clinical spectrum.	Clin Genet, 94(3–4):362–367, 2018.	Case report
237	Imagawa E	遺伝子診療科	Novel SUZ12 mutations in Weaver-like syndrome.	Clin Genet, 94(5):461–466, 2018.	Case report
238	Iwama K	遺伝子診療科	Novel recessive mutations in MSTO1 cause cerebellar atrophy with pigmentary retinopathy.	J Hum Genet, 63(3):263–270, 2018.	Original Article
239	Iwama K	遺伝子診療科	A novel SLC9A1 mutation causes cerebellar ataxia.	J Hum Genet, 63(10):1049–1054, 2018.	Original Article
240	Kunii M	遺伝子診療科	Genetic analysis of adult leukoencephalopathy patients using a custom-designed gene panel.	Clin Genet, 94(2):232–238, 2018.	Original Article

241	Miyake N	遺伝子診療科	A novel missense mutation affecting the same amino acid as the recurrent PACS1 mutation in Schuurs-Hoeijmakers syndrome.	Clin Genet, 93 (4):929-930, 2018.	Letter
242	Mizuguchi T	遺伝子診療科	gain-of-function mutations in PPP3CA cause two distinct disorders.	Hum Mol Genet, 27(8):1421-1433, 2018.	Original Article
243	Nakashima M	遺伝子診療科	De novo hotspot variants in CYFIP2 cause early-onset epileptic encephalopathy.	Ann Neurol, 83(4):794-806, 2018.	Original Article
244	Sekiguchi F	遺伝子診療科	A novel homozygous DPH1 mutation causes intellectual disability and unique craniofacial features.	J Hum Genet, 63(4):487-491, 2018.	Original Article
245	Suzuki T	遺伝子診療科	A homozygous NOP14 variant is likely to cause recurrent pregnancy loss.	J Hum Genet, 63(4):425-430, 2018.	Original Article
246	Tsuchida N	遺伝子診療科	GRIN2D variants in three cases of developmental and epileptic encephalopathy.	Clin Genet, 94(6):538-547, 2018.	Original Article
247	Tsujimoto S	遺伝子診療科	Diploidy analysis of NUDT15 variants and 6-mercaptopurine sensitivity in pediatric lymphoid neoplasms.	Leukemia, 32(12):2710-2714, 2018.	Original Article
248	Uchiyama Y	遺伝子診療科	A novel GFI1B mutation at the first zinc finger domain causes congenital macrothrombocytopenia	Br J Haematol, 181(6):843-847, 2018.	Others
249	Uchiyama Y	遺伝子診療科	A novel CYCS mutation in the α -helix of the CYCS C-terminal domain causes non-syndromic thrombocytopenia.	Clin Genet, 94(6):548-553, 2018.	Case report
250	Hamanaka K	遺伝子診療科	De novo truncating variants in PHF21A cause intellectual disability and craniofacial anomalies.	Eur J Hum Genet, 27(3):378-383, 2019.	Original Article

251	Iwama K	遺伝子診療科	Genetic landscape of Rett syndrome-like phenotypes revealed by whole exome sequencing.	J Med Genet, 56(6):396-407, 2019.	Original Article
252	Kemmotsu T	遺伝子診療科	Antenatal Administration of Betamethasone Contributes to Intimal Thickening of the Rat Ductus Arteriosus.	Circ J, 83(3):654-661, 2019.	Original Article
253	Mitsuhashi S	遺伝子診療科	robust detection of tandem repeat expansions from long DNA reads.	Genome Biol, 20(1):58, 2019.	Original Article
254	Mizuguchi T	遺伝子診療科	Detecting a long insertion variant in SAMD12 by SMRT sequencing: implications of long-read whole-genome sequencing for repeat expansion diseases.	J Hum Genet, 64(3):191-197, 2019.	Original Article
255	Nakagama Y	遺伝子診療科	Leaky splicing variant in sepiapterin reductase deficiency: Are milder cases escaping diagnosis?	Neurol Genet, 5(2):e319, 2019.	Original Article
256	Saida K	遺伝子診療科	SOFT syndrome in a patient from Chile.	Am J Med Genet A, 179(3):338-340, 2019.	Case report
257	加藤英明	感染制御部	Prevalence of, and risk factors for, hematogenous fungal endophthalmitis in patients with Candida bloodstream infection.	Infection 2018;46(5):635-40.	Original Article
258	加藤英明	感染制御部	Infectious complications in adults undergoing intensive chemotherapy for acute myeloid leukemia in 2001-2005 using the Japan Adult Leukemia Study Group AML201 protocols.	Support Care Cancer. 2018;26(12):4187-4198.	Original Article
259	Kessoku T	緩和ケアセンター	Fentanyl Citrate Sublingual Tablets Were Effective in Relieving Symptoms of Akathisia - A Case Report.	Gan To Kagaku Ryoho, 45(Suppl 1): 89-91, 2018.	Case report
260	Kessoku T	緩和ケアセンター	Usefulness of Suvorexant for Complicated Delirium in Cancer Patients Who Experience Sleep Disturbance during Hospitalization.	Gan To Kagaku Ryoho, 45(Suppl 1): 92-94, 2018.	Original Article

261	Kessoku T	緩和ケアセンター	Assessing Patient Factors Influencing the Discontinuation of Opioids after Intra-Arterial Chemotherapy for Oral Cancer – A Retrospective Study.	Gan To Kagaku Ryoho, 45(Suppl 1): 95–97, 2018.	Original Article
262	Honda Y	緩和ケアセンター	Patient Factors Enabling the Decannulation of the Gastrostomy Tube after Superselective Intra-Arterial Chemoradiation Therapy for Locally Advanced Oral Cancer – A Retrospective Study.	Gan To Kagaku Ryoho, 45(Suppl 1): 104–106, 2018.	Original Article
263	Matsuura T	緩和ケアセンター	Combination Therapy of Oxycodone and Tapentadol Was Effective for Intractable Pain Caused by Breast Cancer Bone Metastasis – A Case Report.	Gan To Kagaku Ryoho, 45(Suppl 1): 74–76, 2018.	Case report
264	Nakamura T	病態病理学	Genome-wide DNA methylation profiling shows molecular heterogeneity of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma.	Cancer Sci.110(2):828–832, 2019.	Original Article
265	Kato S	病態病理学	Multicenter experience with large panel next-generation sequencing in patients with advanced solid cancers in Japan.	Jpn J Clin Oncol. 49(2):174–182, 2019.	Original Article
266	Ogawa Y	病態病理学	Improvement in dysmyelination by the inhibition of microglial activation in a mouse model of Sandhoff disease.	Neuroreport, 29(11):962–967, 2018.	Others
267	Kataoka T	病態病理学	A molecular pathological study of four cases of ciliated muconodular papillary tumors of the lung.	Pathol Int, 68(6):353–358, 2018.	Original Article
268	Hibiya T	病態病理学	Uterine carcinosarcoma-induced pulmonary tumor thrombotic microangiopathy: A case report.	Human Pathology: Case Reports.11: 79–82, 2018.	Case report

269	Ohtake M	病態病理学	Succinate Dehydrogenase B Subunit-Negative Jugular Foramen Paranglioma Manifesting Malignant Progression with Pseudohypoxia-Related Atypical Uptake of [18F]-Fluoro-2-Deoxy-d-Glucose: A Case Report.	World Neurosurg. 114:47-52, 2018.	Case report
270	Miyake A	病態病理学	Update on the potential significance of psammoma bodies in lung adenocarcinoma from a modern perspective.	Histopathology. 72(4):609-618, 2018.	Original Article
271	Sano D	病態病理学	The applicability of new TNM classification for humanpapilloma virus-related oropharyngeal cancer in the 8th edition of the AJCC/UICC TNM staging system in Japan: A single-centre study.	Auris Nasus Larynx. 45(3):558-565, 2018.	Original Article
272	Doi H	神経内科学・脳卒中医学	Cerebellar ataxia-dominant phenotype in patients with ERCC4 mutations.	J Hum Genet, 63 (4): 417-423, 2018.	Original Article
273	Joki H	神経内科学・脳卒中医学	White matter hyperintensities on MRI in dementia with Lewy bodies, Parkinson's disease with dementia, and Alzheimer's disease.	J Neurol Sci, 385:99-104, 2018.	Original Article
274	Kudo Y	神経内科学・脳卒中医学	An attempt to treat ocular flutter and opsoclonus by cerebellar magnetic stimulation.	J Neurol Sci, 395:119-120, 2018.	Original Article
275	Tada M	神経内科学・脳卒中医学	Matrin 3 is a component of neuronal cytoplasmic inclusions of motor neurons in sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Am J Pathol, 188 (2): 507-514, 2018.	Original Article
276	Katsumoto A	神経内科学・脳卒中医学	Microglia in Alzheimer's Disease: Risk Factors and Inflammation.	Front Neurol, 9:978, 2018.	Original Article

277	Miyaji Y	神経内科学・脳卒中医学	Fasciculation potentials and decremental responses in amyotrophic lateral sclerosis.	Clin Neurophysiol, 129 (2): 345-348, 2018.	Original Article
278	Kunii M	神経内科学・脳卒中医学	Genetic analysis of adult leukoencephalopathy patients using a custom-designed gene panel.	Clin Genet, 94(2): 232-238, 2018.	Original Article
279	Kitazawa Y	神経内科学・脳卒中医学	Predictive factors of higher drug load for seizure freedom in idiopathic generalized epilepsy: Comparison between juvenile myoclonic epilepsy and other types.	Epilepsy Res. 144: 20-24, 2018.	Original Article
280	Takahashi K	神経内科学・脳卒中医学	Cerebrospinal fluid level of Nogo receptor 1 antagonist lateral olfactory tract usher substance (LOTUS) correlates inversely with the extent of neuroinflammation.	J Neuroinflammation, 15(1):46, 2018.	Original Article
281	Takahashi K	神経内科学・脳卒中医学	Two cases of anaphylactic shock by methylprednisolone in neuromyelitis optica.	Mult Scler , 24:1514-1516, 2018.	Original Article
282	Asano S	神経内科学・脳卒中医学	Severe rebound relapse of multiple sclerosis after switching from fingolimod to dimethyl fumarate.	Clin Exp Neuroimmunol, 9:173-176, 2018.	Original Article
283	Komiya H	神経内科学・脳卒中医学	A Case of McLeod Syndrome with A Novel XK Missense Mutation.	Mov Disord Clin Pract, 5(3):333-336, 2018.	Original Article
284	Komiya H	神経内科学・脳卒中医学	Case of immune-mediated necrotizing myopathy associated with anti-signal recognition particle antibodies: Dramatic improvement after rituximab, cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone therapy for intravascular large B-cell lymphoma.	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 9:177-181, 2018.	Original Article

285	Miyatake S	神経内科学・脳卒中医学	Biallelic COLGALT1 variants are associated with cerebral small vessel disease.	Ann Neurol, 84:843-853, 2018.	Original Article
286	Hamanaka K	神経内科学・脳卒中医学	Confirmation of SLC5A7-related distal hereditary motor neuropathy 7 in a family outside Wales.	Clin Genet, 94 (2): 274-275, 2018.	Original Article
287	Yahikozawa H	神経内科学・脳卒中医学	A Japanese Family of Spinocerebellar Ataxia Type 21: Clinical and Neuropathological Studies.	Cerebellum, 17:525-530, 2018.	Original Article
288	Nakamizo T	神経内科学・脳卒中医学	Changes in stroke risk by freedom-from-stroke time in simulated populations with atrial fibrillation: Freedom-from-event effect when event itself is a risk factor.	PLoS One, 13(3):e0194307, 2018.	Original Article
289	Johkura K	神経内科学・脳卒中医学	Effects of cerebellar magnetic stimulation on chronic post-lateral medullary infarction dizziness: A proof-of-principle cohort study.	J Neurol Sci, 392:56-62, 2018.	Original Article
290	Katsumoto A	神経内科学・脳卒中医学	Katsumoto A, Miranda AS, Butovsky O, Teixeira AL, Ransohoff RM, Lamb BT: Laquinimod attenuates inflammation by modulating macrophage functions in traumatic brain injury mouse model.	J Neuroinflammation, 15(1):26, 2018.	Original Article
291	Kakisaka Y	神経内科学・脳卒中医学	Teleconference-based education of epileptic seizure semiology.	Epilepsy Res. 145: 73-76, 2018.	Original Article
292	Susuki K	神経内科学・脳卒中医学	Glial β II spectrin contributes to paranode formation and maintenance.	J Neurosci, 38 (27) : 6063-6075, 2018. (selected for the cover art in the issue.	Original Article

293	Tanokashira D	神経内科学・脳卒中医学	Metformin treatment ameliorates diabetes-associated decline in hippocampal neurogenesis and memory via phosphorylation of insulin receptor substrate 1.	FEBS Open Bio, 8(7):1104-1118, 2018.	Original Article
294	Sasaki T	神経内科学・脳卒中医学	A central-acting connexin inhibitor, INI-0602, prevents high-fat diet-induced feeding pattern disturbances and obesity in mice.	Mol Brain, 11(1):28, 2018.	Original Article
295	Akamine S	神経内科学・脳卒中医学	A male case with CDKL5-associated encephalopathy manifesting transient methylmalonic acidemia.	Eur J Med Genet, 61(8):451-454, 2018.	Original Article
296	Watanabe K	神経内科学・脳卒中医学	Comparative study of ipsilesional and contralesional repetitive transcranial magnetic stimulations for acute infarction.	J Neurol Sci, 384:10-14, 2018.	Original Article
297	Iida Y	神経内科学・脳卒中医学	Bow Hunter's Syndrome by Nondominant Vertebral Artery Compression: A Case Report, Literature Review, and Significance of Downbeat Nystagmus as the Diagnostic Clue.	World Neurosurg, 111:367-372, 2018.	Original Article
298	Yermakov LM	神経内科学・脳卒中医学	Type 2 diabetes leads to axon initial segment shortening in db/db mice.	Front Cell Neurosci, 12 : 146, 2018.	Original Article
299	Griggs RB	神経内科学・脳卒中医学	Methylglyoxal disrupts paranodal axoglial junctions via calpain activation.	ASN Neuro, 10 : 17590914187661752018, 2018.	Original Article
300	Mori K	神経内科学・脳卒中医学	A Subtype of Bow Hunter's Syndrome Requiring Specific Method for Detection: A Case of Recurrent Posterior Circulation Embolism due to "Hidden Bow Hunter's Syndrome".	JNET, 12(6): 295-302, 2018.	Original Article

301	Yazaki K	神経内科学・脳卒中医学	Ventricular fibrillation due to early repolarization syndrome in the wake of hypothermia due to fulminant acute disseminated encephalomyelitis.	Circ J, 82 (5): 1478-1480, 2018.	Original Article
302	Kokiko-Cochran ON	神経内科学・脳卒中医学	Traumatic Brain Injury in hTau Model Mice: Enhanced Acute Macrophage Response and Altered Long-Term Recovery.	J Neurotrauma, 35(1):73-84,2018.	Original Article
303	Kohashi K	神経内科学・脳卒中医学	Epileptic apnea in a patient with inherited glycosylphosphatidylinositol anchor deficiency and PIGT mutations.	Brain Dev. 40(1):53-57, 2018.	Original Article
304	Iwama K	神経内科学・脳卒中医学	Novel recessive mutations in MSTO1 cause cerebellar atrophy with pigmentary retinopathy.	J Hum Genet. 63(3):263-270, 2018.	Original Article
305	Mutoh H	神経内科学・脳卒中医学	Biallelic Variants in CNPY3, Encoding an Endoplasmic Reticulum Chaperone, Cause Early-Onset Epileptic Encephalopathy.	Am J Hum Genet. 102(2):321-329, 2018.	Original Article
306	Saikusa T	神経内科学・脳卒中医学	de novo HDAC8 mutation causes Rett-related disorder with distinctive facial features and multiple congenital anomalies.	Brain Dev. 40(5):406-409, 2018.	Original Article
307	Akita T	神経内科学・脳卒中医学	De novo variants in CAMK2A and CAMK2B cause neurodevelopmental disorders.	Ann Clin Transl Neurol, 5(3):280-296, 2018.	Original Article
308	Fassio A	神経内科学・脳卒中医学	De novo mutations of the ATP6V1A gene cause developmental encephalopathy with epilepsy.	Brain. 141(6):1703-1718, 2018.	Original Article

小計8

合計308件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	①・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	①・無
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	①・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	①・無
・ 公立大学法人横浜市立大学臨床研究利益相反委員会実施要綱により委員会の設置、所掌事務、組織、自己申告書の審査及び本学が設定する基準額を超える利益関係についてのマネジメントについて定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年35回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
・ 研修の主な内容 「倫理審査のポイント」 「臨床研究における倫理と倫理指針」 「研究不正防止対策とCOI適正管理」 「研究倫理の近年の動向と課題～患者データの利用はどこまで可能か～」 等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本学は20を超す多彩なプログラムを有しており、大学病院の専門診療科及び専門別センターで高度で質の高い医療に従事することができる。また、協力病院をはじめとした地域医療機関での研修によって、臨床研修に引き続きプライマリ・ケアを含めた幅広い研修も行うことができる。研修期間は原則3年間であり、専門医取得に向けた大きな一歩となっている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	92人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
中島 秀明	血液・リウマチ・感染症内科	教授	32年	
田村 功一	腎臓・高血圧内科	教授	31年	
田中 景章	神経内科・脳卒中科	教授	32年	
寺内 康夫	内分泌・糖尿病内科	教授	30年	
前田 愼	消化器内科	教授	26年	
中島 淳	消化器内科（肝胆膵）	教授	30年	
市川 靖史	臨床腫瘍科	教授	33年	
須田 顕	精神科	助教	17年	
伊藤 秀一	小児科	教授	26年	
益田 宗孝	心臓血管外科	教授	32年	
遠藤 格	消化器・肝移植外科	教授	34年	
稲葉 裕	整形外科	准教授	30年	
相原 道子	皮膚科	教授	38年	
矢尾 正祐	泌尿器科	教授	37年	
宮城 悦子	産婦人科	教授	31年	
水木 信久	眼科	教授	30年	
折館 伸彦	耳鼻いんこう科	教授	31年	
幡多 政治	放射線科	教授	26年	
光藤 健司	歯科・口腔外科・矯正歯科	教授	30年	
後藤 隆久	麻酔科	教授	32年	
山本 哲哉	脳神経外科	教授	30年	
中村 健	リハビリテーション科	教授	26年	
前川 二郎	形成外科	教授	33年	
竹内 一郎	救急科	教授	22年	
大橋 健一	病理部	教授	33年	
山崎 悦子	臨床検査部	准教授	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

()

()

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜
管理担当者氏名	医事課長 高橋 正海 / 総務課長 増田 政博

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各科
		処方せん	総務課・薬剤部
		手術記録	総務課
		看護記録	総務課
		検査所見記録	総務課
		エックス線写真	総務課
		紹介状	総務課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	職員課
		高度の医療の提供の実績	医事課(病歴室)
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	各関係部署
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課(病歴室)
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課・薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	職員課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	職員課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	職員課
		医療安全管理部門の設置状況	職員課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	八景キャンパス総務課
		職員研修の実施状況	職員課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	職員課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	八景キャンパス総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	八景キャンパス企画財務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜	
閲覧担当者氏名	医事課長 高橋 正海／ 総務課長 増田 政博	
閲覧の求めに応じる場所	不定	
閲覧の手続の概要 申込用紙（所属・氏名・ID・利用目的等）を提出し、内容を確認後、2週間を目途に貸出を行う		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	件
閲覧者別	医 師	延	件
	歯 科 医 師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 医療安全管理の基本方針 2. 医療安全管理のための組織体制 3. 報告及び再発防止、医療事故発生時の対応 4. 高難度新規医療技術を用いた医療提供及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供 5. 説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有 6. 患者からの相談等への対応 7. 医療安全のための職員教育・研修 8. 外部監査、内部通報制度 9. その他医療安全の推進	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年23回 ・ 活動の主な内容： 安全管理対策委員会：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネジャー会議：安全管理対策委員会の方針周知 リスクマネジャーによるグループワーク 安全課題検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 187 回
・ 研修の内容（すべて）：別添参照	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. インシデントシステムを用いた院内のインシデント報告の収集を実施 2. 収集したインシデントの問題点を分析し対応を行う 3. 職種横断的な対応が必要な案件は複数のリスクマネジャーによる事例の検討を行う 4. インシデントの件数、事故報告等は医療機能評価機構へ報告し、広く情報共有する	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 委員会等の組織に関する基本的事項 3. 職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 1. 医療関連感染防止等についての検討 2. 感染症発生状況の把握 3. 感染症発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 4. 感染対策マニュアル等の検討 5. 環境ラウンド・感染対策推進部会の活動把握 6. 分離菌、CLABSI、CAUTI、VAE、SSIサーベイランスの把握	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 65 回
・ 研修の内容（すべて）： 1. Eラーニング：当院の感染対策（全職員） 2. 講演会：『医療のプロフェッショナルとしての予防接種の理解／抗菌薬を正しく使おう！』（全職員） 3. 標準予防策、ミキシング、処置別研修（新人看護師・研修医） 4. 静脈注射研修・CVC研修（看護師） 5. 療養環境整備について、吐物処理、抗菌薬（感染リンクナース会） 6. 耐性菌対策、抗菌薬、空調管理、結核感染対策（感染対策推進部会） 7. 清掃業者に対する感染対策・工事業者に対する感染対策（委託業者） 8. 手指衛生・小児科病棟の感染対策 9. 部署特有の感染対策・耐性菌対策（部署・部門）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） 病棟別検出菌発生頻度、材料別菌発生頻度、主要分離菌の検出と推移などの感染レポートを作成している。院内感染対策が必要な耐性菌やウィルス疾患の検査結果が判明した際には、臨床検査部から感染制御部と担当医師に報告され、また、部門システム上からも感染症発生状況を随時把握できる体制がある。また、部署部門での感染症把握時は、管理者から感染制御部に報告がある。 感染制御部部員は、必要時に訪問し状況把握に努め、助言や指導を行い院内感染拡大防止に努めている。また、必要に応じて臨時で感染対策委員会を開催し対応を協議している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部署・部門にて、アクションプランを用いた感染対策の取り組み 手指衛生サーベイランス（病棟・外来・中央部門）の実施 感染対策推進部会にて、血液体液曝露の減少に向け勉強会とグループワークの取り組み CLABSI、CAUTI、VAE、SSIの減少にむけた報告や、療養環境整備の取り組み 制御部及び感染対策推進部員の院内ラウンドによる感染対策チェック	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容： 新採用職員及び転入職員に対する処方オーダーに関する研修 研修医に対する麻薬・抗がん剤の処方に関する研修 看護師に対する静脈注射に関する安全研修 抗菌薬の適正使用に関する研修 院内の医療安全講演会にて薬剤師の立場から安全管理について講演 * 詳細については薬剤部内に研修実績として管理している	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (①・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ① 手順書に基づく業務の実施状況を確認するために、リスクマネージャーを通して各病棟および部門のチェックリストによる定期確認を行っている(3ヶ月毎 6・9・12・3月)	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【未承認医薬品】なし 当院では未承認医薬品の定義を「院内で使用したことのない医薬品であって、医薬品の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)における承認又は認証を受けていないもの(国内において承認されておらず、かつ国外において医療用として使用されているもの。ただし、当院内において同一の使用目的で使用した経験がある場合、治験目的の場合はこれを除く)」としており、昨年度の実績はない。 【禁忌・適応外使用】禁忌：21件、適応外：86件 ・ メトロニダゾール 小腸内細菌異常増殖症に対する投与 ・ G-CSFの脳神経保護目的の使用 ・ プロテカジン末梢神経障害に対する投与 など ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【未承認医薬品】 院内に未承認新規医薬品等評価部を設立し、専任の薬剤師(薬剤部兼務)を配置している。未承認医薬品等の使用における有用性及び安全性に関する情報収集及び評価を行い、部門及び臨床倫理委員会にて報告を行う。使用症例については開始報告、経過観察報告、終了報告を受け、部門にて共有する。 【禁忌・適応外使用】 ・ 医薬品情報管理室(DI)にて情報を一元管理し、有用性・安全性のエビデンスを調査・評価し、院内の安全管理対策委員会にて使用状況を報告。必要に応じて臨床倫理委員会への提出を促す等、安全使用に関する取り組みを行っている。 ・ 上記の体制に関し、昨年度の外部監査でDI室で収集・評価した情報を病院として審議すべきとの指摘があったため、取り組みの見直しを行った。(2018年5月から臨床倫理委員会で審議する体制となった。)	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 172 回
・ 研修の主な内容： ・ 研修の主な内容： 主要7品目（麻酔器を加えた8品目）を中心とした研修を主に実施 放射線業務従事者向け放射線安全取扱講習会 医療機器の使用に関する事項 医療機器の使用に関して特に法令上順守すべき事項 新規導入機器についての研修（11番撮影室 X線透視装置・人工心肺装置・麻酔器等） 新採用職員に対する医療機器研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 （①・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 汎用機器である中央管理医療器の保守点検計画に基づく定期点検の実施 主要8品目の医療機器保守管理計画に基づくMEセンター又はメーカーによる定期点検 中央管理機器に対する返却時の終業点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （①・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：事例無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー会議を通じたPMDA等医療安全情報の職員への周知 インシデント報告のあった医療機器に対する日常点検方法の改善と指導 2018年2月末に発生した電源コード発火事例を受けて、中央管理機器返却時に電源コードの全数確認（抵抗値測定）を実施した。5月に手術室・重症系病棟のデブeltaップの抵抗値測定を実施し、基準値以下を廃棄・交換した。6月に病棟の電源コンセント確認、倉庫内の充電用電源コードの抵抗値測定し、基準値以下を廃棄・交換した。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・ 責任者の資格 (医師・歯科医師) ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 別紙組織図のとおり	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 薬剤部医薬品情報管理室 (DI) に専任担当者を2名配置し、定期的な情報収集・発信を行っている。 【収集・発信情報の例】 ・ 医薬品等安全性情報、添付文書改訂情報、Up to date (適応症の追加などの月刊情報) (年12回：全診療科あて通知、院内ポータルに掲示) ・ 医薬品適正使用情報 (随時、昨年度は6回発行) ・ 採用医薬品集 (4月発行、10月追補版発行) ・ 薬事委員会速報 (年6回、奇数月) ・ 禁忌適応外医薬品情報収集報告 (107件：DI室で収集した件数) ・ 医薬品安全性情報報告書 (30件：PMDAに報告) ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 医療の質向上センターに未承認新規医薬品等技術評価部を設置し、未承認薬等を用いた医療提供に対する提供の適否、使用条件等について意見を述べている。 ・ 担当者の指名の有無 (有) ・ 無 ・ 担当者の所属・職種： (所属：手術部 , 職種 医師) (所属： , 職種) (所属：看護部 , 職種 看護師) (所属： , 職種) (所属：ME , 職種 ME) (所属： , 職種)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する	

規程の作成の有無 (☒ 有 ☐ 無)

- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
：ガイドラインに則った監査の実施及び、監査結果の報告

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

☒ 有 ☐ 無

- ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
ガイドラインに則った監査の実施及び、監査結果の報告

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒ 有 ☐ 無

- ・所属職員：専従（4）名、専任（4）名、兼任（7）名
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
うち看護師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（0）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・活動の主な内容：

医療に係る安全管理対策の推進、医療に係る安全管理についての情報収集、分析、評価等に関する業務を行う。

モニタリングについては、画像診断報告書の未読数、病理結果確認率、中心静脈穿刺同意書取得率、中心静脈穿刺早期合併症発症率、中心静脈穿刺X線確認実施率、中心静脈穿刺超音波使用率、死亡症例数、手術関連死亡症例数、手術患者の血栓予防率、術後肺血栓症発生率、アレルギー情報入力率、転倒転落発生率、転倒転落レベル別発生件数のモニタリングを行っている。

安全に関する意識確認についてリスクマネージャーの院内巡回時に以下の内容をヒアリングしている。：AEDの場所、ドクターコールの番号、内部通報制度の窓口、予期せぬ死亡事例報告、病理レポート確認時のチェック入力、CV抜去時の体位、注射剤投与・混注時の電子認証の使用、インシデントレポートの入力方法等

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数 13件）、及び許可件数（14件）

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：
 - ①診療科から所定書類記載の上、申請書が高難度新規医療技術評価部門に提出される。
 - ②評価部門では申請書類内容を確認した上で、高難度新規医療技術評価部会（評価部会）を開催し、申請内容、技術内容、患者への説明内容等を審査し高難度新規医療技術であるか審査し、高難度新規医療技術と判断した上で記載内容等に不足があれば申請者に修正依頼を実施。
 - ③評価部会の検討結果をもとに高難度新規医療技術評価委員会（評価委員会）を開催。評価委員会および臨床倫理委員会双方で内容を審査し申請案件の実施の可否を検討
 - ④評価委員会の可否をもとに、再度評価部会を開催し申請案件の実施を承認する。
 - ⑤承認された案件に対し、診療科は所定件数を実施、評価部門では所定件数に対しモニタリングを実施し、必要件数が終了するまで実施内容の成否、有害事象の把握を行う。また評価部門では5症例の転帰をまとめ、必要があれば評価部会の審査にかけモニタリングの追加を行う。
 - ⑥所定件数（原則5症例）が終了すると評価部会で実施症例の内容を審査し、モニタリングの終了を決定する。（有害事象発生状況によっては、その都度評価部会で再評価、審査を行う）
 - ⑦審査案件に対し5症例が問題なく終了した段階で、高難度新規医療技術実施が評価部会で承認され、通常の診療となる。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：

各診療科から申請のあった案件について、未承認新規医薬品等評価委員会へ使用の適否、使用を認める場合の条件等について意見を求め、委員会の意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、診療科の長に対しその結果を通知している。

また、使用された未承認新規医薬品等について、定期的に、手術記録、診療録等の記載内容を確認し、

当該未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業員の遵守状況を確認している

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 264 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 403 件（オカレンス 385 件、3b 事例 18 件）
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
全死亡患者の診療記録を医療安全管理室で確認した。主な 3b 事例に関しては、院内医療事故会議を開催し事例を検討し安全管理対策委員会で報告した。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (☒ 有 (病院名：京都大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (☒ 有 (病院名：大阪大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況
院内製剤について、平成 24 年に日本病院薬剤師会より発出された「院内製剤の調製及び使用に関する指針」に基づき適正に分類されていた。院内製剤による未承認医薬品に関する手順のフローについては作成中であり、完成次第、手順書等に反映することが望ましい。
→院内製剤による未承認医薬品に関する手順のフローを作成し、手順書に反映するよう進めている状況である。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
患者相談窓口を設置し、平日時間内の相談に適宜応じている。必要時は当事者や部署責任者への連絡を行い、患者説明の調整を行っている。また管理職へ改善に向けた方向を定期的に行っている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

平成 28 年度に「教職員研修委員会」を設置し、研修年間計画を策定するほか、病院として研修受講歴の一元的な管理に取り組んでいる。

中でも、医療安全講演会(研修会)は年 6 回開催しており、医療安全の基本的な考え方やインシデント事例をふまえた具体的対策・改善等に関して研修を実施している。各講演会では参加者アンケートを実施しており、学習効果の測定も合わせて行っている。

また、多職種による連携と協働を推進するための取組としては、平成 26 年度から TeamSTEPPS 研修を開催しており、毎年新採用職員を中心に、当院で働くすべての教職員が受講できるようにしている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が主催している平成 30 年度特定機能病院管理者研修へ病院長

・医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者が前年度に引き続き参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成30年度安全管理研修の開催状況および計画

附属病院

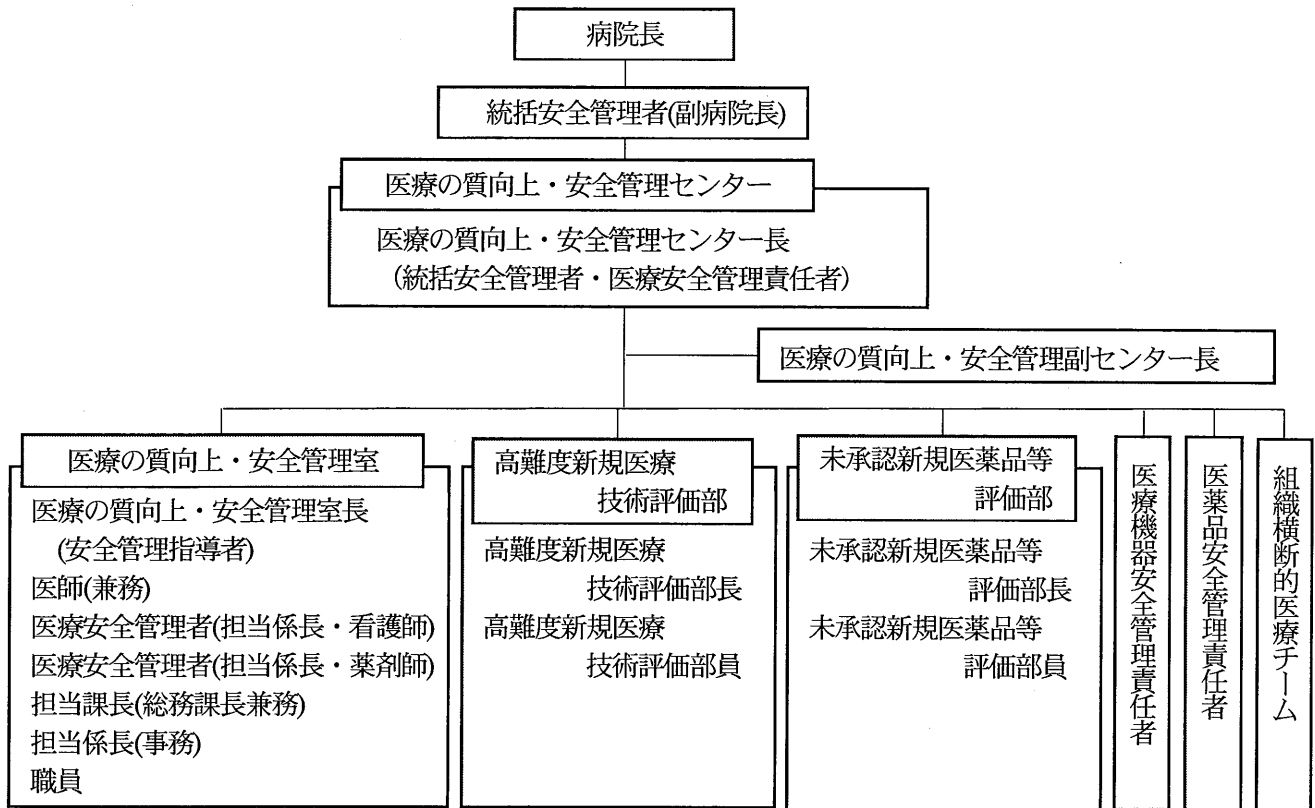
研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者入職時研修Ⅰ	4/4	新入職者 (研修医・ 看護職員・ コメディカル・事務)	161人	2.0時間	当院の医療安全の仕組み 手術・検査における医療安全 放射線診療における医療安全 薬剤管理における医療安全 医療安全演習
新入職者入職時研修Ⅱ	4/25 eL	新採用医師・異動者 集合研修	37人 107人	2.0時間	手術・検査における医療安全 放射線診療における医療安全 薬剤管理における医療安全 当院の医療安全の仕組み
TeamSTEPPS研修	6/12 7/27 11/7	全職員	77人 79人 77人	1.5時間	参加型医療安全研修
第1回医療安全講演会	4/11 5/7 5/8 5/8 5/9 5/10 5/10 5/11 5/14 5/18 DVD e-L	新採用者・ 転入職者・ 全職員	248人 6人 14人 8人 17人 23人 6人 12人 15人 8人 4人 29人	1.0時間	附属病院の医療安全の歩み
第2回医療安全講演会	6/6 8/20 8/21 8/22 8/22 8/23 8/24 8/27 8/28 8/30 8/31 DVD e-L	看護師・コ メディカル・ 全職員	162人 33人 35人 45人 32人 74人 70人 24人 16人 14人 18人 1人 17人	1.0時間	患者・薬剤・検体等の取り違えによる法的責任
第3回医療安全講演会	7/24 8/7 8/9 8/13 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/17 9/5 9/6 9/6 9/7 9/7 9/11 DVD e-L	医師・ 看護師・ 全職員	364人 124人 78人 83人 79人 149人 83人 159人 145人 69人 33人 64人 17人 56人 44人 58人 170人 0人	1.0時間	画像診断報告書確認漏れによる診断遅れの防止 ～事例分析と対策～
第4回医療安全講演会	10/16 11/12 11/12 11/13 11/14 11/15 11/15 11/16 DVD	全職員	181人 78人 27人 71人 62人 66人 36人 33人 0人	1.0時間	手術安全チェックリストとノンテクニカルスキル ～カナダ・オンタリオ州の失敗とサウスカロライナ州の成功～

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
	e-L		12人		
第5回医療安全講演会	1/11 1/25 1/28 1/29 1/29 1/30 1/30 1/31 1/31 DVD e-L	全職員	163人 93人 77人 89人 53人 79人 38人 62人 46人 0人 16人	1.0時間	JUST 20 YEARS ～医療安全元年からの20年～
第6回医療安全講演会	2/12 2/18 2/18 2/19 2/19 2/20 2/20 2/21 2/21 2/22 DVD e-L	全職員	78人 20人 3人 20人 10人 24人 7人 25人 7人 20人 1人 17人	1.0時間	・平成30年度リスクマネジャーによりグループワークの取組発表 ・平成30年度立入等 指摘事項
医療安全e-Learning	4/17	全職員	1760人	-	徹底的に患者確認
MR磁場体験研修	6/20 10/17	全職員	15人 0	1.0時間	MRI検査の特徴を学習・体験し、磁場を用いた検査の注意点を理解する
人工呼吸研修Ⅰ	5/11 6/8 7/6 9/7	医師・研修 医・看護 師・医学部 生	5人 12人 17人 0	1.5時間	・講義(人工呼吸器使用の目的と適応、 事故予防マニュアルに沿った取扱い、緊急時の対応等) ・演習
人工呼吸研修Ⅱ	6/22 9/21 10/12	レベルⅠ 受講者	8人 6人 8人	1.5時間	
中心静脈カテーテル 講習会	4/24 5/21 10/2	医師・研修 医	34人 32人 18人	3.0時間	・講義、シミュレーターを使用した実技演習
新入職者入職時研 修	4/4	新入職員 (全職 種)	161	15分	医薬品の安全管理
研修医オリエン テーション	4/4	研修医	61	45分	麻薬の取り扱いについて
新入職・転入者研 修	4/25	新採用医 師、異動 者	36	10分	エラー防止に向けた 医薬品オーダーについて
研修医セミナー	8/9	研修医、 薬剤師	15	1.0時間	抗がん剤について
血管確保研修	9/21	看護師	81	40分	薬剤の基礎知識と管理
感染リンクナース	10/24	看護師	23	30分	抗菌薬と耐性菌について
感染対策推進部会	1/23	医師・看護 師その他医 療職種	80	15分	抗菌薬について
医薬品安全講習会	2/7	全職員	28	20分	①医薬品の安全使用について ②麻薬の取り扱いについて ③抗がん剤の曝露対策
人工心臓及び 補助循環装置 定期研修第1回	5/29 6/1 6/7	医師 Ns ME	41	1.0時間	補助人工心臓AB5000の取り扱い
人工心臓及び 補助循環装置 定期研修第2回	10/17 10/19 10/22 10/23 10/24 10/31	医師 Ns ME	76	15分	補助循環装置SP101の取り扱い
人工心臓及び 補助循環装置 定期研修第3回	3/1-3/31	医師 Ns ME	127	e-learning	補助循環装置IABPの取り扱い
人工呼吸器 定期研修第1回	6/8,6/22,7/6,9 /7,9/21,10/12	医師 Ns ME	39	e-learning	人工呼吸器V60の取り扱い
人工呼吸器 定期研修第2回	12/14-1/31	医師 Ns ME	48	e-learning	人工呼吸器(小児用)の取り扱い
人工呼吸器 定期研修第3回	2/11-3/31	医師 Ns ME	136	e-learning	人工呼吸器Servo-Uの取り扱い

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
血液浄化装置 定期研修第1回	10/1-11/30	医師 Ns ME	134	e-learning	血液浄化装置について
血液浄化装置 定期研修第2回	2/5 2/6 2/7 2/8 2/19 2/20 2/21	医師 Ns ME	70	30分	血液浄化装置のトラブルシューティング
除細動装置 定期研修第1回	9/1-10/31	医師 Ns ME	207	e-learning	除細動装置について
除細動装置 定期研修第2回	2/4-2/28	医師 Ns ME	182	e-learning	除細動装置の使用方法
閉鎖式保育器 定期研修第1回	7/9-8/31	医師 Ns ME	68	e-learning	閉鎖式保育器について
閉鎖式保育器 定期研修第2回	12/14-1/31	医師 Ns ME	65	e-learning	閉鎖式保育器の使用方法
麻酔器 定期研修第1回	5/9 5/10 5/15	医師 Ns ME	42	30分	麻酔器Aisysの取り扱い
麻酔器 定期研修第2回	11/28 11/30 12/4	医師 Ns ME	40	30分	麻酔器Flow iの取り扱い
ステップ1 (新採用者オリエンテーション)	4/4 4/5	新人看護 職員	70	2日間	・病院概要・看護部概要を知り、組織の一員としての自覚が芽生える ・病棟配属への心理的な準備を図り、リアリティショックの予防の機会とする
ステップ2 パート①	4/13 4/14	新人看護 職員	70	2日間	・基本的な看護技術を学ぶ。 ・基本的な看護技術のイメージが図れる。 ・内服管理、感染管理、輸液管理、酸素療法・吸引、静脈血採血、輸血療法
ステップ2 パート②	5/28			半日	
ステップ4 (タイムマネジメント)	6/4 6/6	新人看護 職員	70	半日	・日状業務の中で、状況に応じてタイムリーに応援を求める事が出来る ・業務遂行する上で適切な時間管理について学び、活かす事が出来る
ステップ5 (多職種協働)	6/4 6/6	新人看護 職員	70	半日	担当看護師として、患者を取り巻く多職種と連携出来る
ステップ6 (災害看護)	7/4	新人看護 職員	69	2.5時間	災害時の対応について基本的な知識を学ぶ
ステップ7 (フィジカルアセスメント)	8/20	新人看護 職員	67	1日	フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいて患者情報を収集し、観察した内容を適切に報告・相談できる
ステップ8 (リスクアセスメント)	11/5 11/7	新人看護 職員	68	半日	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護が提供できる
ステップ9 (身体抑制)	11/5 11/7	新人看護 職員	68	半日	行動制限の基礎知識を学び、身体抑制の実施と管理が出来る
ステップ10 (チーム医療)	1/11 1/30	新人看護 職員	68	半日	多重業務の中で、患者の安全を考えた業務の優先順位の判断を体験し、今後の看護実践に活かす
感染対策の基礎 (処置別感染対	6/29	新人看護 職員	68	半日	・基本的な標準予防策に必要な基礎知識を修得する ・膀胱留置カテーテル挿入時・留置中の感染対策を学ぶ
褥瘡対策ケア 基礎編	6/15	新人看護 職員	70	2時間	褥瘡に関する診療報酬の要件を知り、全入院患者を対象に実施する褥瘡リスクアセスメントの実施が出来、基本的な褥瘡予防ケアがわかる
BLS①研修	7/4	新人看護 職員	69	1.5時間	新人看護職員として心配蘇生を習得し、患者急変時の対応がイメージできる
摂食・嚥下 (食事介助)	7/4	新人看護 職員	69	半日	栄養と接触嚥下に関する基礎知識を学び、安全な食事介助方法がわかる
看護と安全Ⅰ	2/6 2/13	GDP2	55	半日	看護に必要な医療安全の基礎を学び、実践に活かす インシデント発生時の対応、再発予防策を学ぶ
看護と安全Ⅱ	8/7	GDP3	14	半日	インシデント発生時の対処方法を学び、安全対策において推進的な役割を担い、リーダーシップを発揮できる
フィジカルアセス メント2パート①	6/25	GDP2	64	半日	・フィジカルアセスメントの理解を深め、3つの視点（呼吸状態・循環動態・意識状態）を用いて、根拠に基づいた患者の情報がアセスメント出来る ・アセスメントした情報を看護に繋げる事が出来る
フィジカルアセス メント2パート②	8/29 8/31	GDP2	61	半日	
フィジカルアセス メント2パート③	12/5 12/14	GDP2	57	半日	
BLS②研修 ～ベッドサイドの 急変時のケアから ～	8/29 8/31	GDP2～	61	3.5時間	ベッドサイドの急変対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
急変シミュレーション（初級編）	8/30	CDP2～	28	半日	・急変時におけるメンバーの役割を理解役割りがわかり、行動出来る ・急変時における小児（乳幼児）と成人の違いを理解し、正しい一時救命処置を実施出来る
スキンケア研修	11/15	CDP2～	58	半日	スキンケアの基本的な知識と技術を習得し、受け持ち看護師として患者に対し適切な実施が出来る
フィジカルアセスメント3（急変予兆）	11/26	CDP3～	19	半日	急変を未然に防ぐための患者の状態変化に気付く事ができ、迅速な対応が出来る
フィジカルアセスメント4（臨床推論）	1/17	CDP3～	9	半日	臨床推論を学び、日々の看護アセスメントの方法として活用できる
急変シミュレーション（上級編）	10/29	CDP3～	14	半日	急変時のリーダーシップ役割と行動が理解でき、指導的役割が取れる
災害看護	9/12	CDP2～	15	半日	地域医療における災害時の基本的な役割がわかる
呼吸不全患者の看護	1/28	CDP2～	16	半日	呼吸管理の基本的知識・技術を学び、呼吸不全患者の看護に必要な具体的なケアを実践できる
災害看護-Basic-	7/4	看護師長	2	1時間	災害拠点病院における災害時の対応について、夜間・休日の災害対応の流れがわかる
静脈注射（血管確保）研修	9/21	CDP1～	81	半日	・静脈注射を安全に実施するための知識・技術を習得する ・末梢静脈留置針を用いた血管確保の方法を習得する
CVC管理研修	10/22	CDP1～	75	半日	中心静脈栄養カテーテル管理の基本的知識・技術を習得する
放射線部新採用職員医療安全研修	4/5 4/6	放射線技師	5	3時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染、職場改善情報等の運用されている取り組み
ドクターコール訓練	5/2	放射線技師・看護師	50	15分	ドクターコール、部内コールの説明
危険予知トレーニング	5/30 9/26	放射線技師	14	1時間	患者確認・撮影部位確認に関する危険予知トレーニング
放射線安全取扱講習	6/19 6/20 6/21 6/25 6/26 6/28	放射線技師・医師・看護師	60	1.5時間	新規に放射線取扱業務に従事する職員向けの教育研修
医療機器安全取扱い研修	12/14	放射線技師・医師	30	1時間	リニアック、RALS、サイクロトロンに関する安全取扱い研修

組織図



規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準 - 基準の主な内容 ※基準について、令和2年4月1日までに作成予定。 - 基準に係る内部規程の公表の有無（有・無） - 公表の方法
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ☒ 無			
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） - 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
中條 祐介	本学副学長	○		有・無
遠藤 格	本学副学長			有・無
今田 忠彦	本学理事			有・無
下澤 明久	本学理事・事務局 長			有・無
望月 正光	関東学院大学 経 済学部 教授・学 校法人関東学院常 務理事			有・無
森下 信	横浜国立大学大学 院環境情報研究員			有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有 ☐ 無	
・合議体の主要な審議内容 病院運営の重要事項に関すること、病院の中期計画、年度計画に関すること、病院の予算・決算に関すること、その他病院長が必要と認めた事項。 ・審議の概要の従業者への周知状況 学内（院内）グループウェアへ会議資料（議事録含む）を掲載、各診療科・部門の長へメールで同資料を配信。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☐ 有 ☒ 無 ） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
相原 道子	○	医師	病院長
寺内 康夫		医師	副病院長/内分泌・糖尿病内科部長
矢尾 正祐		医師	副病院長/泌尿器科部長
田村 功一		医師	副病院長/腎臓・高血圧内科部長
濱崎 登代子		看護師	副病院長/看護部長
佐橋 幸子		薬剤師	薬剤部長
林 健一		事務	医学・病院統括部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 **無** ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
 - ①公立大学法人横浜市立大学教員管理職規程
 - ②横浜市立大学附属病院規程

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ①副院長 役割：病院長を補佐する役割
 - ②病院長補佐 役割：特定の業務に関して病院長を補佐する役割
※現在の病院長補佐は、医療安全に関する業務を補佐している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
平成30年度から本学で「病院経営の変革に取り組む人材を育成するプログラム」を開始し、当院から将来の病院幹部候補者として8名が履修している。平成31年度も引き続き実施する。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					☒ 有 ☐ 無
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： 前回指摘事項に対する対応状況について 医療に係る安全管理の業務状況について 医療を受ける立場の方からの視点に基づく監査について 医療安全管理部門の体制比較について 公表を行った医療事故の経過について ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 委員名簿の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（☒ 有 ☐ 無） ・ 公表の方法： 病院のホームページ上で公開					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有 ☒ 無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識見を有する者	有 ☒ 無	1
足立 雅子	病院ボランティアランパスの会		医療を受ける立場の者	有 ☒ 無	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を有する者（内部委員）	☒ 有 ☐ 無	1
田中 靖	法人事務局副局長		その他の医療従事者以外の者（内部委員）	☒ 有 ☐ 無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

- ・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (☐ 有 ☒ 無)
- ・ 公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 法人の理事長、副理事長および理事により構成される経営審議会を設置しており、法人の経営に関する重要事項を審議している。月 1 回の開催を原則としており、病院長も理事として参画している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 11 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有・無 ）（ 年 11 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・☒ 無 ） ・ 公表の方法			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（☒有・無） ・ 通報件数（年 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（☒有・無） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（☒有・無） ・ 周知の方法 「医療安全マニュアル」「医療安全マニュアルポケット版」に掲載

(様式第 8)

附総第 8953 号
令和元年 11 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学
理事長 二見 良之

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

医療機器安全管理責任者については、令和 2 年 2 月 12 日の日本医療機能評価機構主催の「2019 年度特定機能病院管理者研修」を受講予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち看護師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置